

神戸観光局マーケティング情報 マンスリーレポート (2023年5月号)

2023年5月30日



1. 今月のトピックス	
今月のトピックス	P.3～7
今月号の注目数字（国内観光）OTAモニタリング	P.8～10
2. 定点観測 ～観光庁など統計データより～	
・延べ宿泊者数の推移（全国、兵庫県、神戸市、大阪市、京都市）[推計値]	P.12～15
・ホテル平均稼働率	P.16
3. インバウンドに関する情報	
・2023年月別訪日外客数 及び 各国・地域別の状況	P.18～19
・主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～香港～	P.20
4. 交通機関に関する情報	
・関西国際空港・神戸空港の利用状況	P.22
・関空国際線就航状況・入国状況	P.23
・クルーズ船寄港状況	P.24
5. 神戸市内観光に関する情報 ～神戸観光局オリジナルデータ～	
・神戸観光局SNSの動向〔Instagram〕	P.26～27
・市内観光案内所 国内観光客案内件数、対応概況、国籍別対応状況	P.28～30
・主要市内観光施設来場者数	P.31
・所管施設入館者数（金の湯・銀の湯・萌黄の館）	P.32
・神戸市内大型施設の主な催事情報（6～7月）	P.33
● 参考資料集	P.34～

※観光統計情報については、統計の種類によって集計結果が配信されるタイミングに差が生じます。
本レポートではできる限りタイムリーな配信に努めてまいります。内容によって取扱い月が異なります。



今月のトピックス

5月8日 新型コロナウイルス感染症が5類化

水際対策や全国旅行支援で、「ワクチンの接種証明書（3回）」や「陰性証明書」の提出が不要に。

① 水際対策 **【4月29日～】**

☞ 厚生労働省 水際対策 [水際対策](#) | [厚生労働省](#) | [日本政府 \(mhlw.go.jp\)](#)

② 全国旅行支援 **【5月8日～】**

※ただし、引き続き本人確認の証明は必要

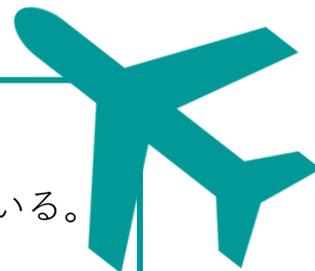
☞ 観光庁 [全国旅行支援の利用条件の変更\(ワクチン・検査の廃止\)等について | 2023年 | 報道発表 | 報道・会見 | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](#)

ANA 5月以降の中国路線増便を決定

- ・ ANAは4月24日、2023年度運航計画において追加の増便を決定。
日本発着需要の回復を踏まえ、今後も機動的に復便や増便などを計画していくとしている。
- ・ 成田＝上海(浦東)線は5月1日より週7往復に増便
上海線(浦東線・虹橋線)は羽田発着と合わせて、首都圏より1日3往復で運航。
- ・ **関空＝上海(浦東)線は6月5日より週3往復(月・金・土)にて運航を再開。
関空からの中国線の運航再開は2020年3月以来、約3年ぶり。**
- ・ 成田＝広州線は5月1日より毎日1往復に増便。羽田＝深圳線は5月20日より毎日1往復で就航。

☞ 詳しくは、ANAプレスリリースをご確認ください。

[2023年度国際線路線・便数計画の変更について | プレスリリース | ANAグループ企業情報 \(anahd.co.jp\)](#)

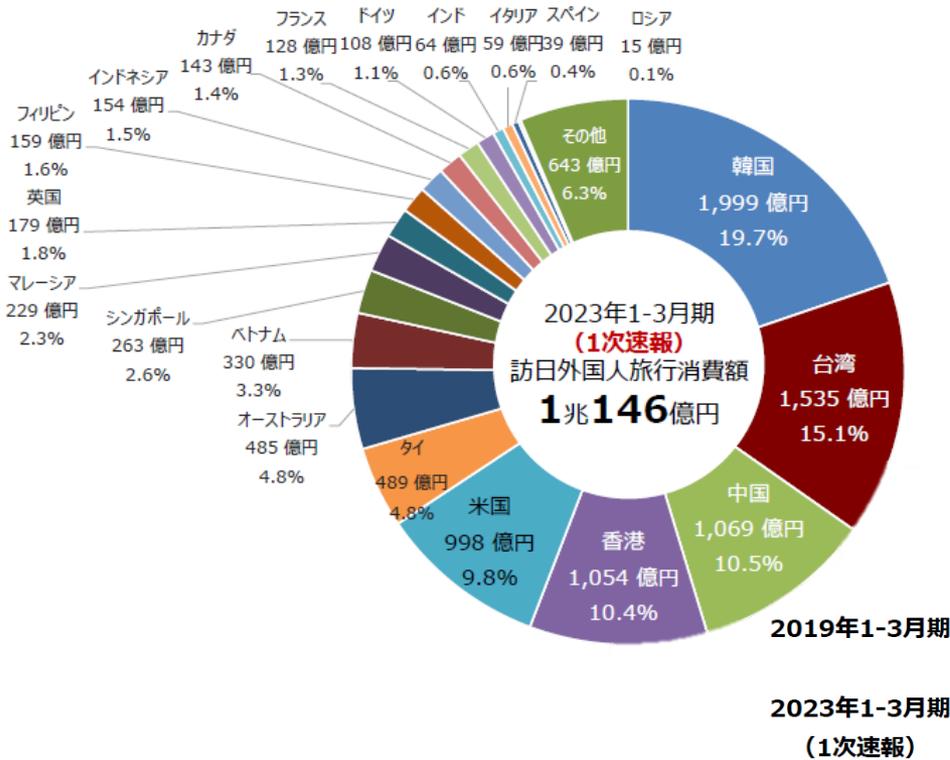


2023.1～3 訪日外国人消費動向調査（速報値）

・ 訪日外国人旅行消費額は、1兆146億円。

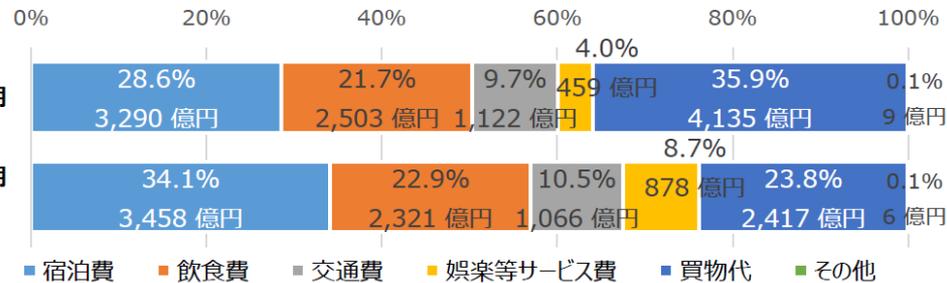
2019年（コロナ前）と比較して**88.1%**まで回復。（2022年10～12月速報値：2019年同期比 49.0%）

【図表1】国籍・地域別にみる訪日外国人旅行消費額と構成比



- 
- 1位 韓国 1,999億円 (19.7%)
 - 2位 台湾 1,535億円 (15.1%)
 - 3位 中国 1,069億円 (10.5%)
 - 4位 香港 1,054億円 (10.4%)

【図表2】訪日外国人旅行消費額の費目別構成比



詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

[訪日外国人消費動向調査2023年1-3月期\(1次速報\)について | 2023年 | 報道発表 | 報道・会見 | 観光庁 \(mlit.go.jp\)](#)

出典：観光庁「【訪日外国人消費動向調査】2023年1-3月期の全国調査結果（1次速報）の概要」より

2023.1～3 訪日外国人消費動向調査（速報値）

- ・ 1人あたり旅行支出は平均21万2千円。
1位 中国（74万7千円）、2位 オーストラリア（35万8千円）、3位 フランス（30万円）
- ・ 参考：観光立国推進計画（2025.3決定）における、**2025目標値** 訪日外国人旅行消費額単価：**20万円/人**

【図表5】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（全目的）

国籍・地域	2023年1-3月期		訪日外国人1人当たり旅行支出						平均泊数 注
	総額	2019年比	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他	
全国籍・地域	211,957	+43.8%	72,236	48,483	22,273	18,341	50,496	128	13.9
韓国	124,913	+69.4%	43,675	32,907	11,261	9,496	27,311	263	7.9
台湾	195,152	+49.5%	59,465	39,286	19,354	10,707	66,151	190	7.7
香港	253,311	+53.7%	77,498	57,802	27,676	15,955	74,380	0	8.4
中国	746,591	+241.9%	168,650	131,987	40,306	220,800	184,848	0	75.8
タイ	199,786	+51.9%	59,030	46,704	27,043	8,232	58,695	81	10.6
シンガポール	247,327	+46.7%	94,583	55,667	22,508	9,210	65,359	0	7.9
マレーシア	233,406	+74.7%	76,423	48,466	29,214	13,353	65,950	0	11.5
インドネシア	186,655	+50.3%	68,983	40,063	24,891	6,566	46,152	0	14.3
フィリピン	144,724	+48.9%	49,327	35,719	18,087	6,720	34,872	0	26.3
ベトナム	205,296	+12.8%	66,484	46,256	19,262	14,529	58,766	0	35.5
インド	206,970	+47.1%	99,056	42,239	24,866	9,870	30,938	0	26.0
英国	277,229	+49.0%	123,244	64,510	38,630	21,881	28,964	0	16.8
ドイツ	256,693	+36.8%	117,499	63,780	34,062	12,145	29,208	0	18.6
フランス	300,069	+70.9%	123,623	77,149	38,830	13,142	47,324	0	20.9
イタリア	275,293	+78.2%	114,850	77,619	37,585	13,088	32,152	0	25.0
スペイン	284,951	+66.3%	117,389	66,014	47,304	18,334	35,910	0	26.1
ロシア	233,265	+64.9%	102,909	34,104	27,807	3,333	65,112	0	37.8
米国	264,289	+56.9%	112,578	61,741	35,259	14,902	39,810	0	13.3
カナダ	193,745	+20.4%	74,049	44,618	25,441	20,672	28,965	0	12.3
オーストラリア	358,476	+46.0%	152,899	80,035	43,640	32,672	49,063	166	16.0
その他	282,147	+58.4%	105,920	74,755	34,848	13,418	53,206	0	26.7

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。

以下、ご参考ください。

出典：観光庁「【訪日外国人消費動向調査】2023年1-3月期の全国調査結果（1次速報）の概要」より

1～3月期訪日外国人 旅行支出20万円超えも親族訪問や留学が影響 | 観光経済新聞(kankokeizai.com)

2023.1～3 訪日外国人消費動向調査（速報値）

【図表6】国籍・地域別にみる一般客1人当たり費目別旅行支出（観光・レジャー目的のみ）

2023年1-3月期		(1次速報)		(円/人)					(泊)
国籍・地域	総額	訪日外国人1人当たり旅行支出【観光・レジャー目的】							平均泊数 注
		2019年比	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等 サービス費	買物代	その他	
全国籍・地域	185,616	+28.3%	63,852	43,359	21,321	10,193	46,763	129	6.6
韓国	107,801	+52.0%	37,745	28,862	10,346	6,327	24,216	304	4.2
台湾	182,963	+51.7%	55,760	37,719	18,890	7,927	62,666	1	5.9
香港	242,506	+49.0%	74,488	56,556	25,871	14,043	71,548	0	6.6
中国	455,800	+108.7%	126,779	70,416	50,239	13,462	194,904	0	10.7
タイ	197,758	+63.1%	58,500	47,211	27,220	8,921	55,806	101	6.6
シンガポール	261,108	+45.0%	92,265	58,836	25,136	10,881	73,990	0	8.3
マレーシア	232,391	+76.0%	75,625	47,695	30,417	10,677	67,978	0	7.2
インドネシア	193,292	+41.4%	70,327	39,584	26,534	7,924	48,922	0	7.5
フィリピン	200,547	+78.6%	67,626	43,633	25,603	11,268	52,418	0	9.5
ベトナム	206,645	+41.9%	65,928	43,781	24,295	6,569	66,071	0	5.8
インド	260,272	+48.7%	118,778	41,896	34,361	22,779	42,458	0	11.2
英国	311,173	+54.7%	137,130	63,629	46,838	30,699	32,877	0	14.4
ドイツ	249,484	+25.4%	110,580	63,953	36,401	10,965	27,585	0	12.4
フランス	318,318	+51.0%	129,969	81,959	44,528	9,992	51,869	0	15.5
イタリア	262,769	+27.6%	111,482	67,667	42,561	14,258	26,800	0	14.1
スペイン	243,032	+31.1%	85,429	59,519	43,942	17,769	36,374	0	14.4
ロシア	195,695	+48.3%	71,227	39,811	46,321	7,000	31,336	0	16.5
米国	290,410	+52.6%	121,617	66,296	40,752	15,790	45,955	0	10.1
カナダ	236,484	+30.0%	91,791	55,286	30,224	25,883	33,300	0	10.6
オーストラリア	361,479	+42.4%	147,129	82,656	46,568	33,442	51,488	195	14.7
その他	311,339	+53.0%	113,303	81,457	42,273	15,066	59,241	0	12.8

※「訪日外国人」には、観光・レジャー目的に加え、ビジネス目的や親族・知人訪問目的などで日本を訪れた外国人が含まれる。日本に居住している外国人は含まれない。

出典：観光庁「【訪日外国人消費動向調査】2023年1-3月期の全国調査結果（1次速報）の概要」より

2023.1～3 日本人国内旅行消費額（速報値）

- ・1-3月期の**日本人国内旅行消費額（速報）は4兆2,331億**。（2019年同期比 +0.5%）
特に3月の宿泊旅行が2019年同月比+22.0%と好調に伸びた。【図表3】
- ・日本人の国内延べ**旅行者数は、1億13万人**と、**2019年同期比▲17.1%**であったが、
日本人国内旅行の**1人1回当たり旅行支出（旅行単価）が42,277円／人**、**2019年同期比+21.2%**と顕著な伸びを見せており、
全体の消費額が引き上がる要因となっている。
- ・参考：観光立国推進計画（2025.3決定） 早期達成目標 国内旅行消費：20兆円



2023年1－3月期（速報）

（2019年同期比）

（宿泊旅行のみ）

（日帰り旅行のみ）

日本人国内旅行消費額	：4兆2,331億円	+0.5%	3兆4,469億円(+6.1%)	7,862億円(▲18.3%)
日本人国内延べ旅行者数	：1億13万人	▲17.1%	5,802万人(▲9.4%)	4,211万人(▲25.8%)
1人1回当たり旅行単価	：42,277円／人	+21.2%	59,413円／人(+17.1%)	18,669円／人(+10.0%)

※宿泊・日帰りの（ ）内は2019年同期比

【図表3】 月別日本人国内旅行消費額

単位：億円

国内旅行全体	うち宿泊旅行			うち日帰り旅行					
	1月	2月	3月	1月	2月	3月			
2019年1-3月期	13,683	11,668	16,758	10,876	8,933	12,672	2,807	2,735	4,086
2020年1-3月期	12,998	12,117	7,858	10,166	9,825	6,159	2,832	2,292	1,698
2021年1-3月期	4,326	3,776	8,169	3,393	2,812	6,399	933	963	1,771
2022年1-3月期	7,992	5,177	10,326	6,461	3,837	8,110	1,531	1,341	2,216
2023年1-3月期（速報）	12,291	11,035	19,005	10,090	8,918	15,461	2,200	2,117	3,544
2019年同月比（2023年/2019年）	-10.2%	-5.4%	+13.4%	-7.2%	-0.2%	+22.0%	-21.6%	-22.6%	-13.3%
前年同月比（2023年/2022年）	+53.8%	+113.1%	+84.0%	+56.2%	+132.4%	+90.6%	+43.7%	+57.9%	+59.9%

詳しくは、観光庁ホームページをご確認ください。

[旅行・観光消費動向調査 2023年1-3月期（速報）](#) | [2023年](#) | [報道発表](#) | [報道・会見](#) | [観光庁 \(mlit.go.jp\)](#)

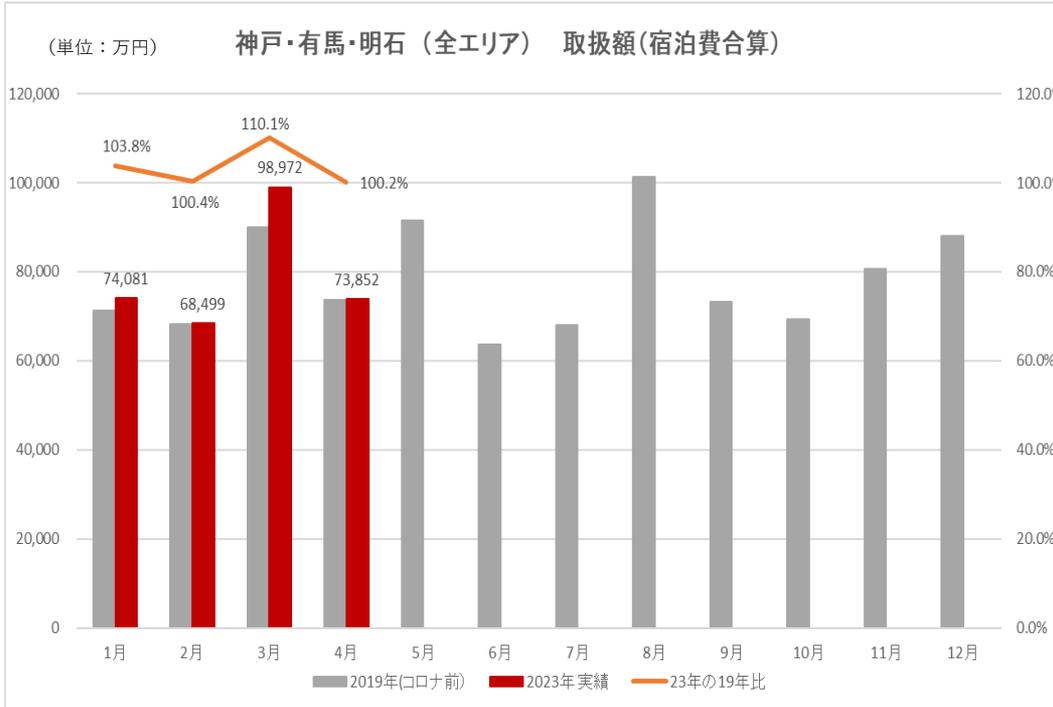
出典：観光庁報道資料「【旅行・観光消費動向調査】2023年1-3月期（速報）」より

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

■ 直近のOTA予約状況について

- 4月 大手OTAの取扱額：2019年同月比：100.2%、人泊数：93.1%と堅調に推移
- 人泊数は2019年に及んでいないが、前月に引き続き市街地・有馬ともに単価が高止まりしていることから、取扱額は2019年と同水準となった。
- 有馬では、インバウンドが回復傾向であることから、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていないものの、インバウンドの需要回復による単価の高止まりは続いている。

【実績】



【実績】 2019年度比

	2月	3月	4月
全市			
取扱額	100.4% (61.3%)	110.1% (74.7%)	100.2% (80.2%)
人泊数	95.0% (68.4%)	103.5% (83.0%)	93.1% (86.4%)
市街地			
取扱額	109.5% (59.3%)	115.8% (71.5%)	109.7% (84.5%)
人泊数	104.4% (71.0%)	109.4% (90.2%)	100.8% (96.8%)
有馬			
取扱額	93.0% (63.4%)	102.2% (80.3%)	89.3% (80.2%)
人泊数	87.8% (61.8%)	95.8% (79.6%)	79.6% (78.3%)

黒太字は

2023年-2019年比 ()内は同時点の2022年-2019年比

【このデータの特徴】現在の国内観光における予約手段として、急速にその影響力が高まったのが、「OTA = Online Travel Agent」。代表的なOTAとして、じゃらんnet、楽天トラベル、一休、Booking.com、JTBるるぶトラベルが上位を形成している。サービスが登場してから個人旅行やビジネス出張などの手配手段として継続的に発展しており、最近ではパソコンではなくスマホからの利用（予約）が主となってきている。2022年のコロナ影響下の中でも、利用者数は増加傾向にあり、トップシェアのOTAの利用者数は1368万人（対前年比177%）と成長している。最近では観光庁のGOTOキャンペーンや、全国旅行支援などで利用を開始する人も増えたと推察される。

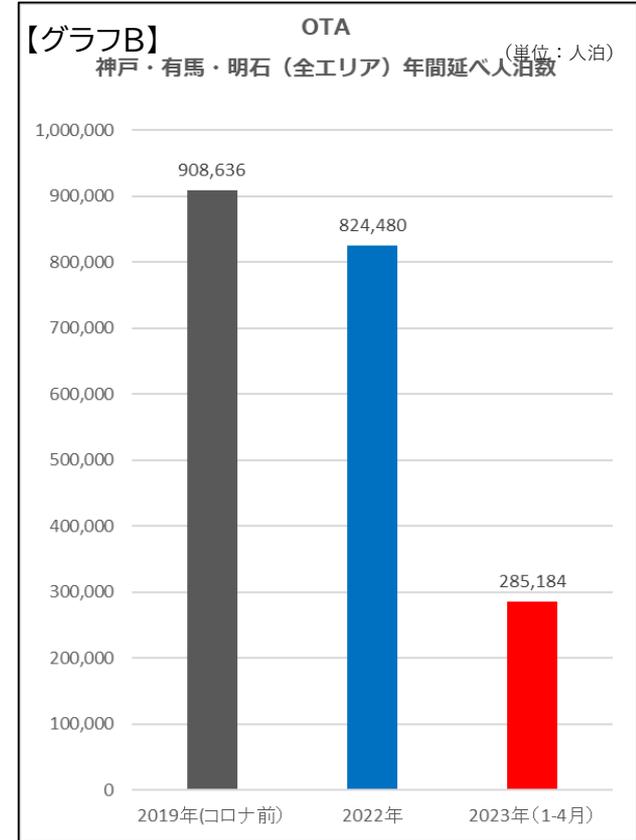
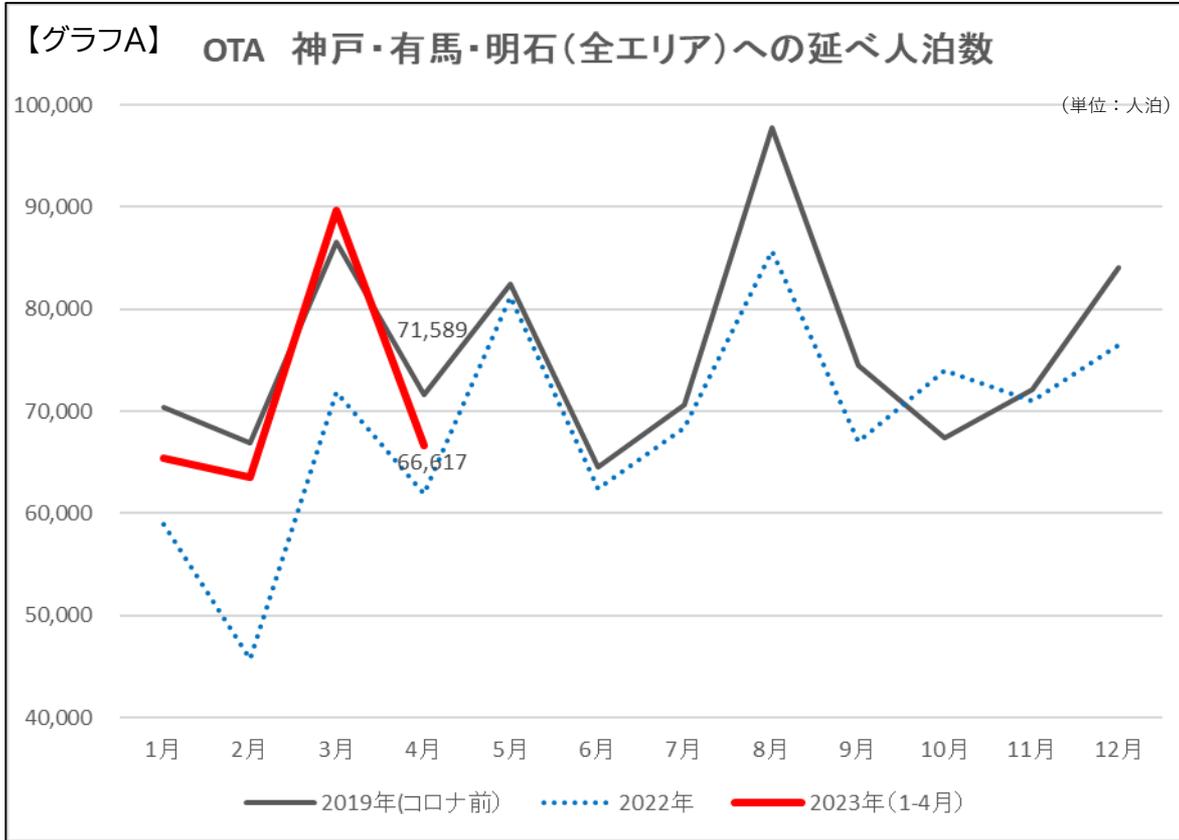
一方で、大型宿泊施設や各種ホテルグループでは、OTAや旅行代理店（リアルエージェント）からの予約ルートに加えて、エージェントを介さない自社HPからの「直予約」の強化を図っている。

上記で掲載しているデータは、全ての販路を集計しているわけではないが、特に個人旅行の傾向を分析するには有効なものと考えている。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【DATAに関する基本情報】

- ・ 某大手OTA（Online Travel Agent）経由での延べ宿泊者数実績
- ・ 神戸市内の宿泊施設 145施設への月別の延べ人泊数（チェックアウトベース）



【考察① グラフ〔A〕 2023年度の出だし好調】

- ・ 2023年 1-4月までは、2019年度の季節変動値に近い数値の推移しており、好調。
- ・ 4月単月では、2019年4月（7万6595人泊）の93.1%にあたる6万6017人泊となった。
- ・ インバウンドが回復傾向であることから、人手不足により販売の部屋数を抑えている宿もあり人泊数は2019年水準に届いていない。
- ・ 4月に関しては全国旅行支援のOTAが早期で無くなり、直接予約に流れた。

【考察② グラフ〔B〕 2022-2019 年間延べ人泊数の比較】

- ・ 2022年の神戸市内全域（145施設）への延べ宿泊者数の実績は、82万4480人泊。
- ・ 2019年（コロナ前・90万8636人泊）の90.7%まで回復。
- ・ 2023年 1-4月までは、28万5184人泊で、前年比34.6%に当たる。

今月の注目数字（国内観光）OTAモニタリング

【予約】

【神戸市】

2019年比
〔取扱額〕

	5月	6月	7月	8月
全市				
5.21時点	111.1% (109.4%)	120.1% (153.1%)	138.1% (161.9%)	127.9% (191.6%)
4/9時点	92.4% (142.7%)	114.1% (211.0%)	128.3% (215.9%)	—
市街地				
5.21時点	112.6% (115.4%)	117.3% (155.5%)	126.6% (164.6%)	120.0% (205.7%)
4/9時点	90.4% (151.0%)	104.3% (209.8%)	107.4% (220.8%)	—
有馬				
5.21時点	105.2% (98.4%)	114.5% (141.4%)	144.8% (145.0%)	118.9% (142.4%)
4/9時点	90.8% (114.8%)	118.4% (191.2%)	153.0% (215.9%)	—

【他エリア比較】

2019年比
〔取扱額〕

	5月	6月	7月	8月
淡路島				
5.21時点	134.2% (108.8%)	156.7% (119.9%)	190.6% (124.6%)	183.3% (146.1%)
4/9時点	131.5% (120.6%)	186.5% (136.2%)	194.4% (125.8%)	—
城崎				
5.21時点	97.2% (99.5%)	102.9% (153.8%)	133.8% (143.6%)	105.0% (146.0%)
4/9時点	86.3% (134.4%)	94.7% (180.4%)	149.7% (193.0%)	—

	5月	6月	7月	8月
大阪市エリア				
5.21時点	137.2% (157.0%)	164.2% (224.1%)	136.6% (239.7%)	142.3% (247.7%)
4/9時点	129.3% (245.1%)	154.6% (322.9%)	87.2% (348.6%)	—
京都市エリア				
5.21時点	124.1% (136.8%)	159.7% (237.6%)	133.1% (194.8%)	123.8% (227.1%)
4/9時点	110.2% (209.3%)	172.6% (400.6%)	115.2% (272.3%)	—
東京23区エリア				
5.21時点	120.6% (158.7%)	143.2% (278.0%)	132.2% (280.8%)	127.1% (274.4%)
4/9時点	120.0% (268.5%)	144.6% (408.8%)	108.8% (330.3%)	—

■GW中に予約状況が大きく動き、8月まではコロナ前を上回る水準まで予約が入っている状況。夏休みシーズンの7月は、有馬・市街地ともにコロナ前を大きく上回る水準となっており、特に市街地はビジネス・イベントの回復に伴い予約が好調に推移している。

■一方、前月以前に引き続き、大阪・京都・東京では、インバウンド回復による単価の増加やビジネス・イベントの回復に伴う都市部の宿泊シェアの増加などにより、取扱額が上昇していると推察される。全国旅行支援が終了しても、7月以降のリバウンドも見受けられない

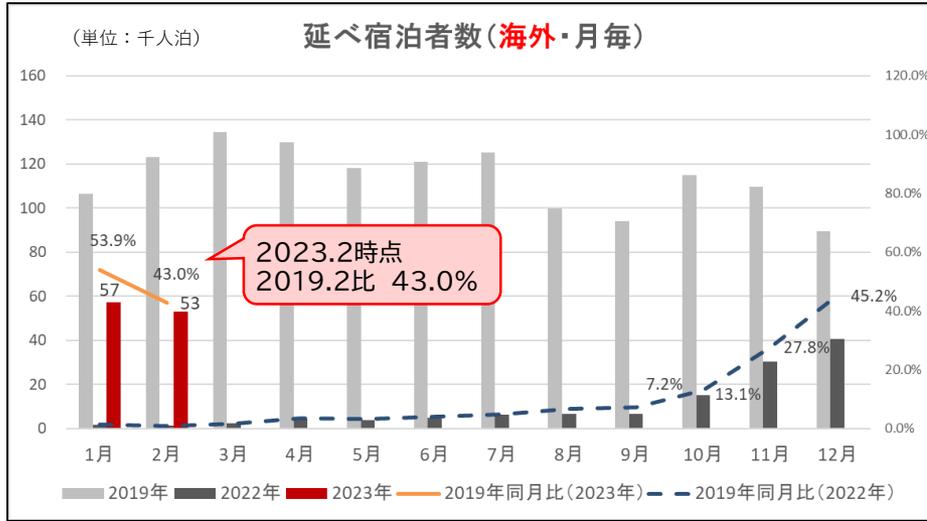
■結果的に、いずれの都市、いずれの月においても2019年比を上回る勢いで宿泊予約が入っている状況となっている。

黒太字は
2023-2019年比 ()内は同時点の2023-2022年比

定点観測

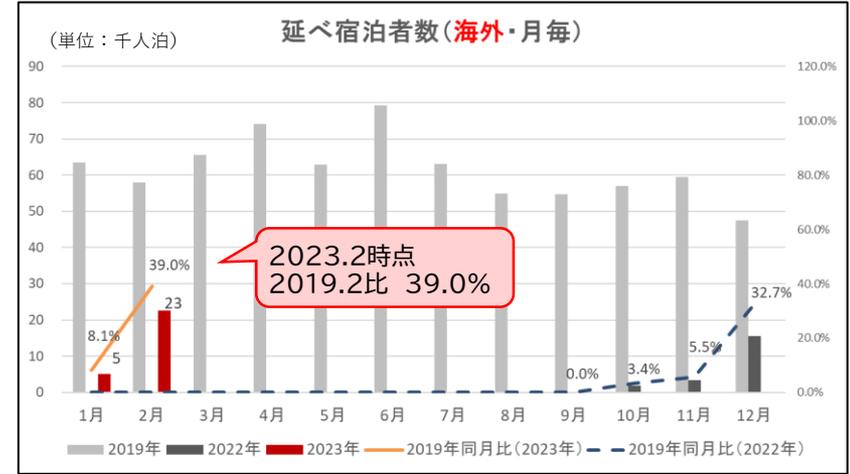
(延べ宿泊者数／市内ホテル平均稼働率)

【兵庫県】



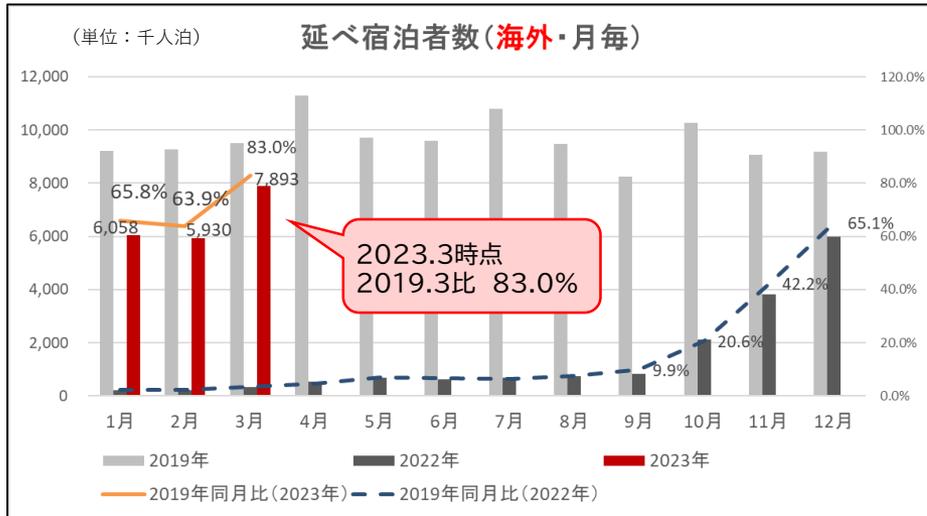
【参考：神戸市】

※数値更新中



【全国】

※R5.3推計値まで



傾向

兵庫県 コロナ前比 約4割 (2月)

全国 コロナ前比 約6割 (2月) ⇒ 約8割 (3月)

⚠ 3月は兵庫県も回復する可能性があると思込まれる

※コロナ前比較: 2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

・令和5年2月 第2次速報値

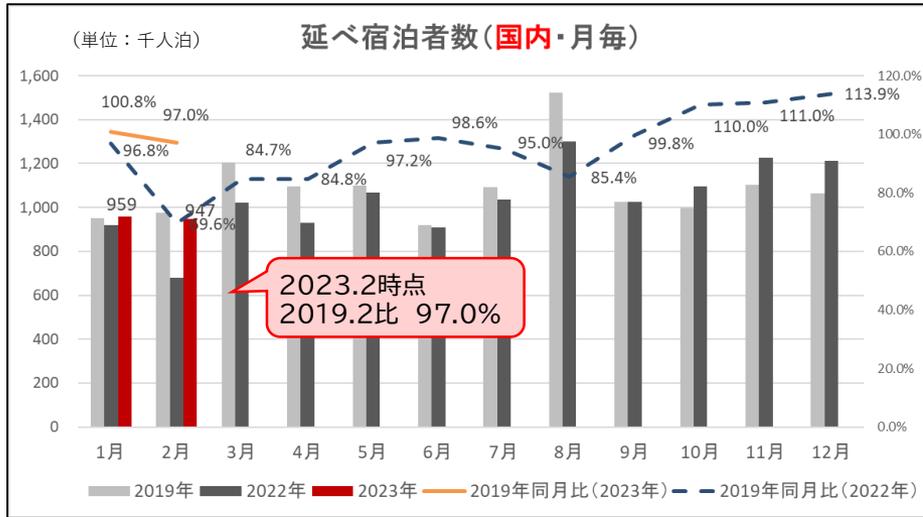
・令和5年3月 第1次速報値

【神戸市】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.5.18時点集計

※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

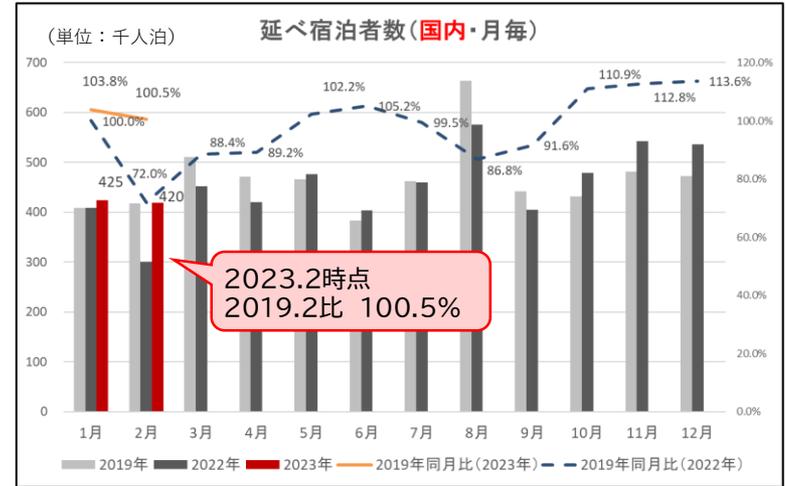
延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【国内比較】 ※R5.2まで

【兵庫県】



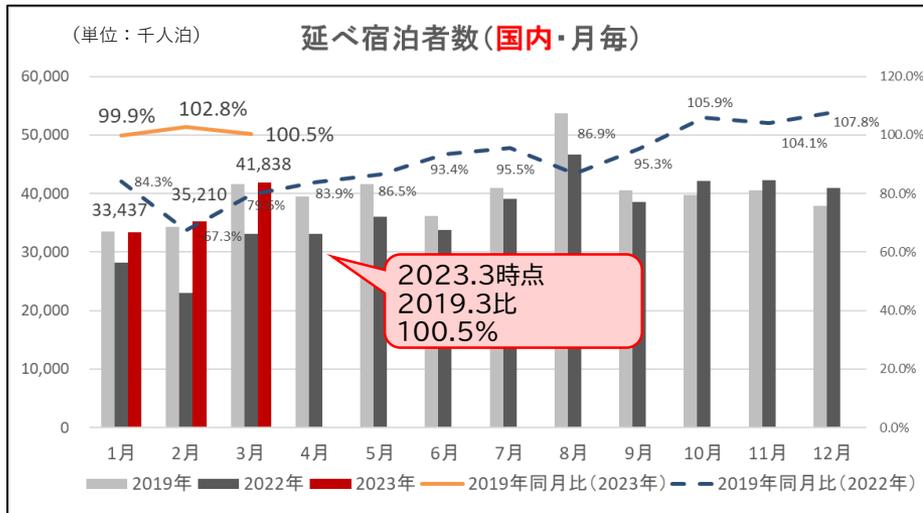
【参考：神戸市】

※数値更新中



【全国】

※R5.3推計値まで



傾向

兵庫県
・全国

コロナ前比と同水準に回復

※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典:【全国・兵庫県】観光庁「宿泊旅行統計調査」

- ・令和5年2月 第2次速報値
- ・令和5年3月 第1次速報値

【神戸市】観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.5.18時点集計

※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

延べ宿泊者数の推移〔推計値〕【神戸・大阪・京都比較】

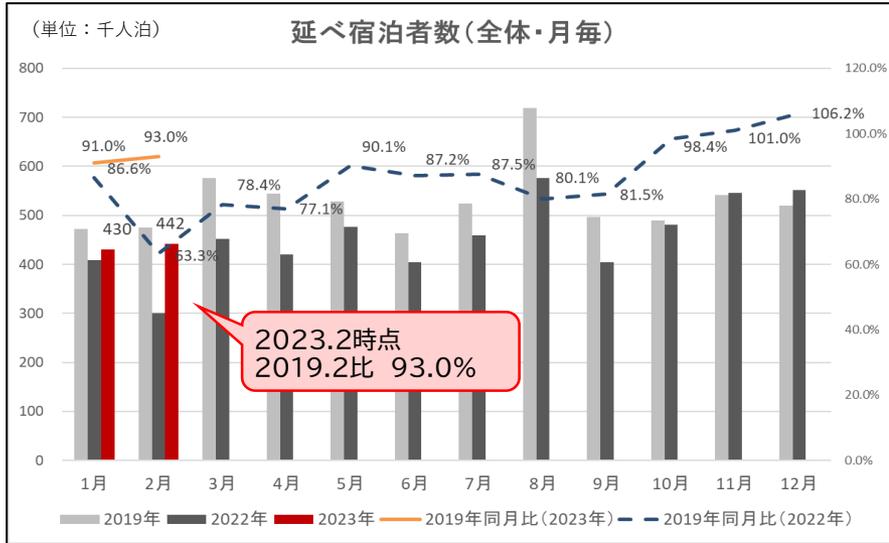
※R5.2まで



【神戸市】

※3市とも数値更新中

※インバウンド・国内の合算値で比較



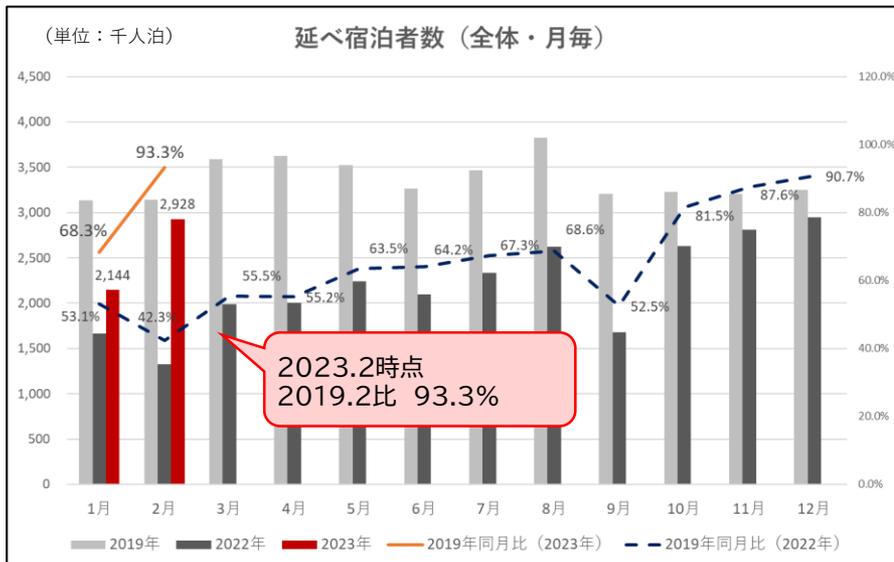
傾向

神戸市 大阪市	コロナ前比とほぼ同水準まで回復
京都市	2月 コロナ前比の約1.5倍に！

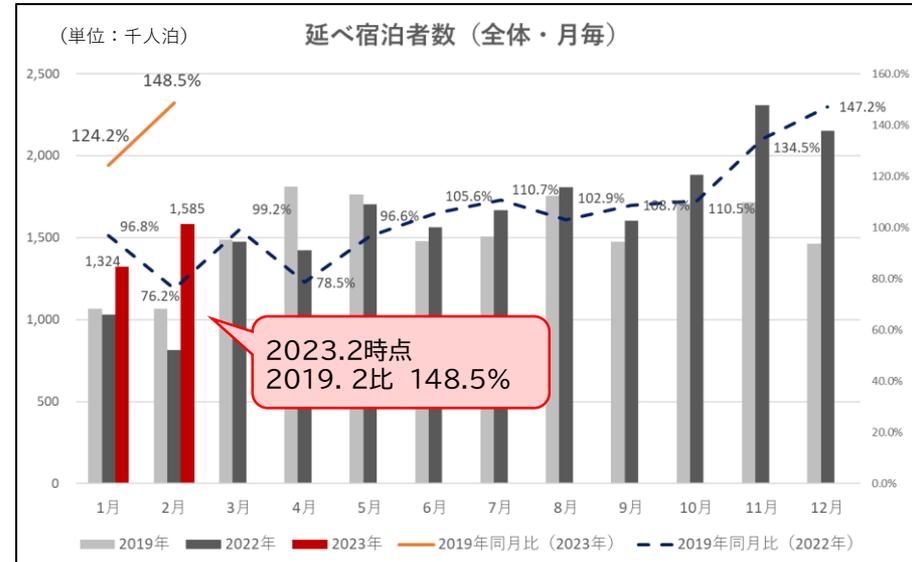
※コロナ前比較:2019.1~2019.12をベースに同月比較

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
(情報更新により数値変動あり) ※2023.5.18時点集計
※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

【大阪市】



【京都市】



2022年12月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
 1	兵庫県	79	(14.7%)
2	大阪府	77	(14.4%)
3	東京都	56	(10.4%)
4	愛知県	37	(6.9%)
5	神奈川県	29	(5.4%)

2023年2月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
 1	大阪府	53	(12.6%)
2	東京都	46	(11.0%)
3	兵庫県	45	(10.7%)
4	愛知県	29	(6.9%)
5	神奈川県	23	(5.5%)

2023年1月 (単位：千人泊)

順位	発地	延べ人泊数	
 1	兵庫県	63	(14.8%)
2	大阪府	57	(13.4%)
3	東京都	56	(13.2%)
4	愛知県	29	(6.8%)
5	神奈川県	26	(6.1%)

傾向

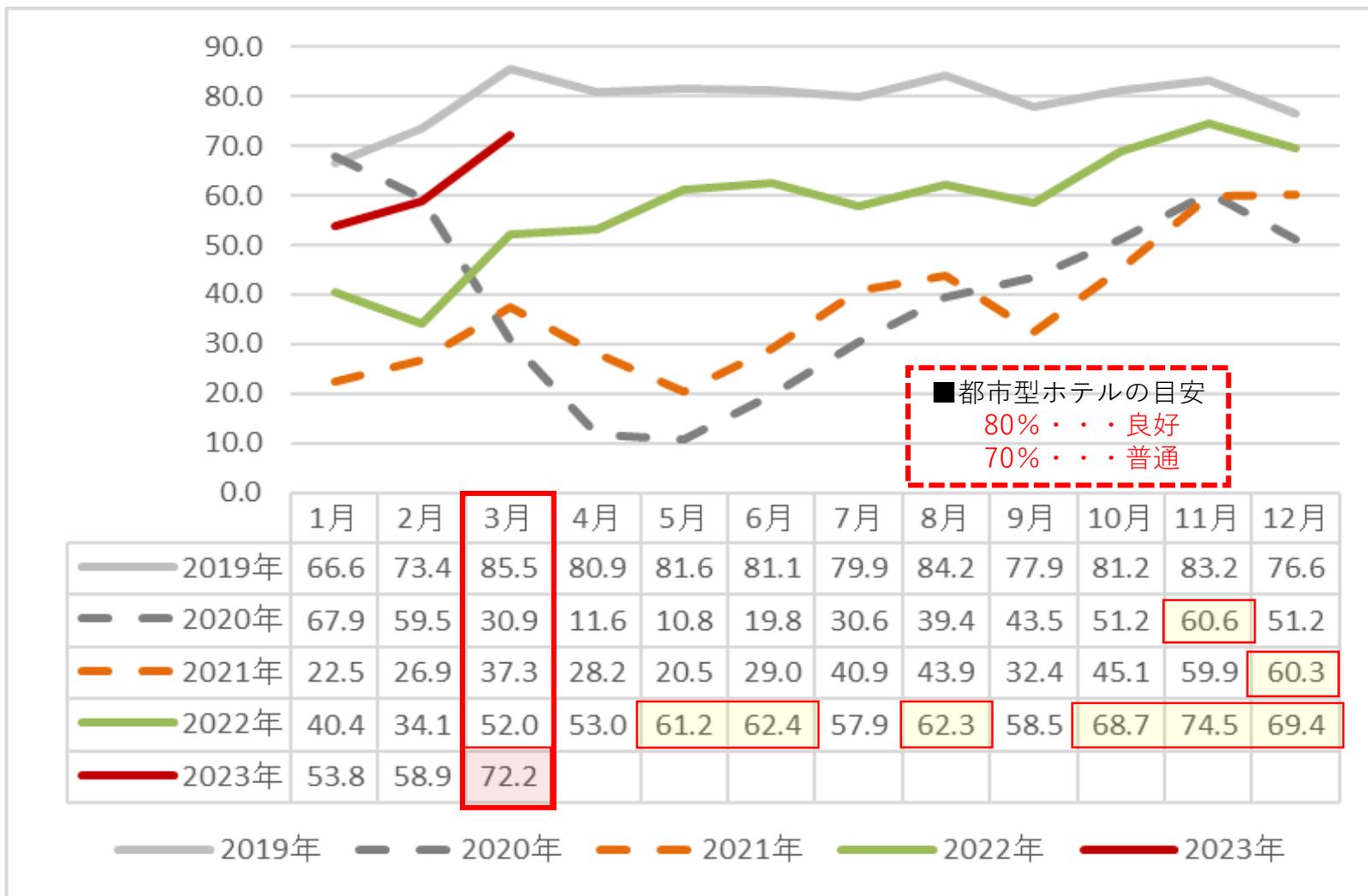
傾向

- ・12月以降、兵庫県内や大阪といった近隣からの旅行者が増加傾向。
- ・12月・1月は30弱の都道府県から来神。
- ・2月は約40都道府県から来神。

 国内旅行の動きが活発化！

出典：観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」
 (情報更新により数値変動あり) ※2023.5.18時点集計
 ※2022.10月以降の海外分の数値が安定しておらず、今後更新の可能性あり

市内ホテル平均稼働率



※10社ベース

【参考】英調査会社STR発表
 3月 国内ホテル稼働率
 全国：77.6%
 （前月比+5.6pt）

3月のホテルの全国平均稼働率は77.6%。2カ月連続で前月を上回った。2020年1月以来の最高値を4カ月ぶりに更新。3月は例年花見シーズンで宿泊客数が伸びやすいが、経済活動の再開や水際対策の緩和で、国内客のほか、米国や東南アジアなどからのインバウンドの利用が増えた。

インバウンド情報

(訪日外客数／ターゲット国の傾向分析)

2023年月別訪日外客数(対2019年比)



訪日外客数(全国)			
	2019	2023	2019比
2月	2,604,322名	1,475,300名	▲43.4%
3月	2,760,136名	1,817,500名	▲34.2%
4月	2,926,685名	1,949,100名	▲33.4%

・訪日外客数は3月に引き続き、2022年10月の水際対策の緩和以降で最高を更新。約195万人（2019年比：66.6%）を記録。
 ・韓国や台湾がけん引する形となっているが、3月末に中国本国からの航空便が復活し、今後更なる回復が想定される。
 ・一方で観光現場では、急速過ぎる来訪者の回復と人員不足とで、受入体制が追い付かない事態もあり、来訪者のマネジメントが今後の課題になることが予見される。

2022.6.10～ 添乗員付きパッケージ

ツアーに限定した訪日観光が再開。

9/7～ ワクチン3回接種を条件に入国時陰性証明不要、添乗員無しパッケージツアーの容認、1日当たり入国上限を5万人に。

10/11～ 1日当たりの入国者数の上限撤廃、短期ビザ免除、個人旅行解禁。入国時検査や待機もワクチン3回接種証明か陰性証明で原則撤廃。

2023.4.29～ 新型コロナウイルス5類化に伴い、日本の出入国者に求めていたワクチン3回接種証明や陰性証明の提出が不要に。

○水際対策(厚労省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

	訪日外客数 Visitor Arrivals		
	2019	2023	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	1,497,472 (1,308,606)	-44.3 (-44.2)
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	1,475,455 (1,297,458)	-43.3 (-44.6)
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	* 1,817,500	* -34.2
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	* 1,949,100	* -33.4
5 May	2,773,091 (2,455,865)		
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)		
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)		
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)		
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)		
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)		
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)		
1～4 Jan.-Apr.	10,980,482 (9,738,727)	* 6,739,500	* -38.6
1～12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)		

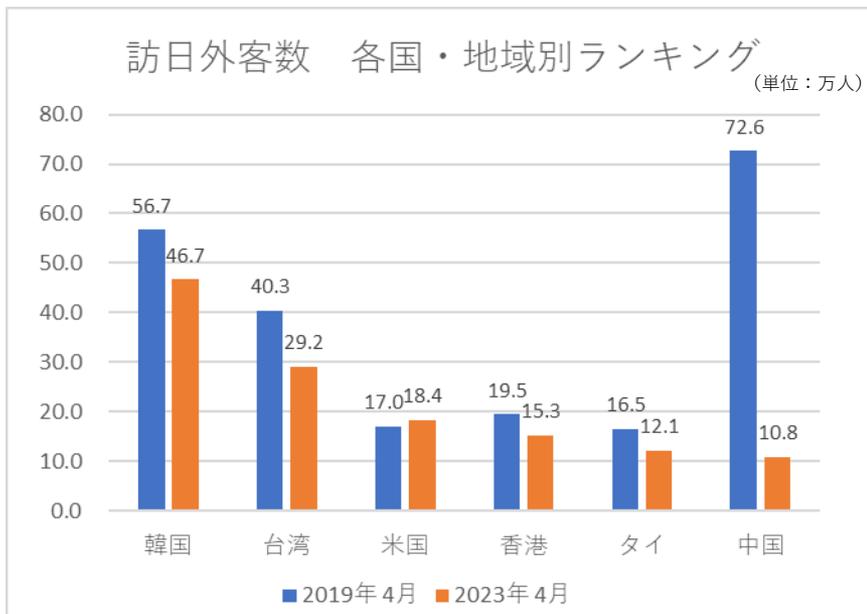
訪日外客数のうち、*印の値は暫定値、その他の値は確定値。

2023年4月訪日外客数の各国・地域別ランキング(対2019年比)

国・地域	総数				2023 総数			
	2019年 4月	2023年 4月	(順位)	伸率 (%)	2019年 1月～4月	2023年 1月～4月	(順位)	伸率 (%)
韓国	566,624人	467,000人	(1位)	▲ 17.6	2,647,397人	2,067,700人	(1位)	▲ 21.9
台湾	403,467人	291,600人	(2位)	▲ 27.7	1,593,227人	1,078,300人	(2位)	▲ 32.3
米国	170,247人	183,900人	(3位)	8.0	542,671人	562,000人	(4位)	3.6
香港	194,806人	152,800人	(4位)	▲ 21.6	699,852人	569,000人	(3位)	▲ 18.7
タイ	164,817人	121,000人	(5位)	▲ 26.6	512,754人	365,700人	(5位)	▲ 28.7
中国※	726,132人	108,300人	(6位)	▲ 85.1	2,895,449人	251,600人	(7位)	▲ 91.3



※2019年4月 1位



4月動向

- 桜シーズンによる訪日需要の高まり等が影響し、4月の訪日外客数は2019年同月比66.6%の1,949,100人となり、前月に引き続き昨年10月の個人旅行再開以降で最高を更新した。
- 地域別では、**東アジア地域において夏ダイヤに合わせた航空便の増便・復便**を背景に訪日外客数の堅調な回復が見られたこと、東南アジア地域、欧米豪地域においても祝祭日による旅行需要の高まりがあったことが訪日外客数の押し上げ要因となった。なお、**国際線定期便に関しては、コロナ禍前の約6割まで運航便数が回復**している。
- 新たな観光立国推進基本計画（令和5年3月31日閣議決定）を踏まえ、観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進しつつ、インバウンドのV字回復を図る必要がある。国内関係者が連携し、海外旅行会社等へのセールス強化や情報発信を通じた高付加価値旅行、アドベンチャー・トラベルの推進、MICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。

主要ターゲット国の旅行行動傾向分析 ～香港～



by KTBインバウンドTM



- ・人口・・・750万人(2022年12月)
- ・GDP(1人当たり)・・・2019：4万8千米ドル → 2021：4万9千米ドル
(cf. 日本 2019：4万1千米ドル → 2021：3万9千米ドル)
- ★国際旅行支出・・・2017：317億米ドル → 2018：353億米ドル → 2019：289億米ドル
- ★訪日旅行者数・・・2017：223万人 → 2018：220万人 → 2019：229万人
※コロナ前は横ばいも、2021年の香港旅遊業議會の調査では、コロナ後に行きたい国として、日本がトップに。特に、グルメに予算をかけた層が多い。
- ・訪日旅行者の性・年代・・・2019 男性：女性=45:55 / ボリュームゾーン 全年齢層で同じ割合
2021 男性：女性=52:48 / // 10～30代(56%)
- ・情報収集媒体・・・①YouTube(51.2%) ②Facebook(46.5%) ③Go!Japan(29.9%) * 訪日旅行情報掲示板



<香港のSNS使用率と広告リーチ率>

① FB(480万人/72%) ② Instagram(230万人/35%) ※利用の約60%が女性で女性ターゲットのPRには効果的
インフルエンサーの活用について、香港では、単にフォロワー数が多いインフルエンサーではなく、食なら食をきちんと語る、旅行ならガイドブックには載っていない情報まで伝えられるような各分野の専門性が高いインフルエンサーの投稿の方が見られる傾向が高い。

香港の最新情報ひとことメモ

- ・香港人の最新旅行トレンド(訪日以外のトレンドも含む)
アジア圏では、タイ・シンガポール・台湾の人気が高く、欧米豪圏では、英国・米国・豪州の人気が高い。
日本は最も人気の旅行先であり、東京・大阪等の大都市ではなく、地方部への訪問を求める傾向が高まっている。
訪日旅行の消費行動としては、日系の小売企業(ドン・キホーテ、マツモトキヨシ等)の香港進出が進んでいることから、買い物<宿泊・食事・体験とする傾向が高まっている。
- ・余暇の志向など、コロナ前後で変化したことなど注目のトピックス
例えば、24時間営業のジムがコロナ前の9施設から117施設に増えるなど、健康志向が高まり、レジャー・スポーツ目的で旅行先を決定するという動きが少しずつ高まってきている。
- ・神戸観光局の動き
約100万人の来場者を誇る香港最大級の展示会「香港ブックフェア・香港スポーツ&レジャーエキスポ」(7/19～25)に兵庫県ブース内で出展し、神戸におけるスポーツ目的の旅行の魅力を伝える。

交通機関に関する情報
(航空業界の状況／クルーズ船寄港状況)

関西国際	2023年 1月	2月	3月
総旅客数(人)	1,390,798	1,456,834	1,756,841
2019年比	▲47%	▲42%	▲39%
国際線 発着数(回)	6,227	6,197	7,496
2019年比	▲55%	▲48%	▲44%
外国人 旅客数(人)	753,219	736,776	808,116
2019年比	▲47%	▲46%	▲43%
国内線 旅客数(人)	502,333	552,232	698,171
2019年比	▲9%	+5%	+9%

神戸	2023年 1月	2月	3月
国内線 発着数(回)	2,812	2,755	3,014
2019年比	+16%	+25%	+21%
国内線 旅客数(人)	253,485	263,184	316,365
2019年比	+2%	+7%	+10%



< 関西国際空港・神戸空港の状況 >

- ・ 3月の関西国際空港の状況は、2月期に引き続き国際線の発着回数が回復傾向。各国の水際対策緩和の影響により、コロナ前（2019年比）の56%まで回復。
- ・ 外国人旅客数は、3月も順調に増加し、80万人を突破。コロナ前と比較しても50%以上回復してきている。
- ・ 各航空会社から日本発着需要の回復を踏まえた国際線の増便が発表されており、今後の更なる回復が期待される。
（参考：ANAの5月以降の中国路線増便については、[3ページ](#)に掲載）
- ・ 神戸空港については、1月以降、コロナ前を上回る回復を見せている。

直近1年間の関西国際空港・神戸空港の利用状況は[41ページ](#)、
2023年3月までの神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率は[42ページ](#)へ

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。22

関空国際線就航状況・入国状況

～KTBターゲット10か国(2019年時点)～ 5月25日時点

国際線就航 状況(便数)	2020年 1月	2022年 11月	12月	2023年 1月	2月	3月	4月	5月
英国	3	0	0	0	0	0	0	0
フランス	6	3	3	3	3	3	3	5
豪州	12	2	2	3	4	4	4	5
中国	630	5	8	8	8	8	98	125
台湾	169	58	63	73	75	91	101	101
香港・マカオ	117	31	46	59	66	69	69	118
韓国	244	140	167	196	238	239	265	282
タイ	47	12	12	18	18	21	31	36
マレーシア	14	5	5	5	15	15	15	15
インドネシア	9	0	0	0	0	0	0	0

※1週間に就航している便数

中国は前月比+27便(127%)

香港・マカオの便数が大幅に増えており、コロナ前まで回復。

出典: 関西エアポート発表情報より作成

入国状況 (人数)	2020年 1月	2022年 11月	12月	2023年 1月	2月
英国	3,526	1,716	2,001	1,879	1,749
フランス	2,271	2,067	1,434	1,324	1,808
豪州	11,956	2,767	5,993	6,964	3,822
中国	328,191	4,509	6,669	7,109	8,540
台湾	102,205	27,171	42,599	60,196	59,164
香港	51,421	28,268	45,600	49,918	37,665
韓国	85,174	113,546	144,508	175,758	176,963
タイ	22,458	9,772	12,434	10,839	12,857
マレーシア	11,684	5,459	6,915	7,085	9,408
インドネシア	8,866	3,096	7,243	5,283	5,760

2月の入国状況は、豪州、台湾、香港が前月よりも減少。ターゲット10か国合計でも若干の減少(97.3%)。

関空入国者数合計は前月よりも増加している。4月の速報値は前月比+10%、471,895人。

※2023.4月速報値

関空入国者数: 471,895人(3月: 425,327人 2月: 369,191人)

出典: 総務省「出入国管理統計」より抜粋

【クルーズ船寄港状況】ポートターミナル・中突堤

		4月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
総合計	隻数	15	10	22	150%	68%	15	119	150	13%	10%
	船客数	8,312	1,210	24,091	687%	35%	8,312	26,683	180,727	31%	5%
ポートターミナル		4月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	9	10	16	90%	56%	9	111	94	8%	10%
	船客数	5,008	1,210	20,004	414%	25%	5,008	22,875	142,298	22%	4%
日中国際フェリー (新笠真・蘇州號)	隻数	4	5	2	80%	200%	4	52	28	8%	14%
	船客数	0	0	191	-	0%	0	0	2,526	-	0%
日本船 (内航)	隻数	0	5	1	0%	0%	0	53	11	0%	0%
	船客数	0	1,210	390	0%	0%	0	18,387	7,385	0%	0%
日本船 (外航)	隻数	0	0	2	-	0%	0	2	3	0%	0%
	船客数	0	0	903	-	0%	0	20	1,262	0%	0%
外国籍船	隻数	5	0	11	-	45%	5	4	52	125%	10%
	船客数	5,008	0	18,520	-	27%	5,008	4,468	131,125	112%	4%
中突堤旅客ターミナル		4月分					累計				
		R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比	R5年度	R4年度	R1年度	前年比	R1年度比
合計	隻数	6	0	6	-	100%	6	8	56	75%	11%
	船客数	3,304	0	4,087	-	81%	3,304	3,808	38,429	87%	9%
日本船 (内航)	隻数	0	0	4	-	0%	0	3	42	0%	0%
	船客数	0	0	3,266	-	0%	0	773	29,813	0%	0%
日本船 (外航)	隻数	0	0	0	-	-	0	0	5	-	0%
	船客数	0	0	0	-	-	0	0	2,286	-	0%
外国籍船	隻数	6	0	2	-	300%	6	5	9	120%	67%
	船客数	3,304	0	821	-	402%	3,304	3,035	6,330	109%	52%

■全体

4月はR4年度比で隻数+5、船客は+7,102。R1年度比で隻数▲7、船客は▲15,779。

ラグジュアリークラスの客船を中心に外国籍クルーズ船が11回寄港し、神戸港がクルーズ客船で賑わった。

■ポートターミナル

4月の入港隻数は9。内訳は定期船の日中国際フェリーが4、外国籍船「PACIFIC WORLD」が1、「SILVER WHISPER」が1、「SILVER MUSE」が1、「WESTERDAM」が1、「AZAMARA QUEST」が1。

■中突堤

4月の入港隻数は6。内訳は外国籍船「SILVER WHISPER」が2、「NAUTICA」が1、「SEVENSEAS EXPLORER」が2、「STAR BREEZE」が1。

神戸市内観光に関する情報
～神戸観光局オリジナルデータ～

■ 日本語アカウントSNSフォロワー数 97,454人 (2023年3月時点) 昨年比116%

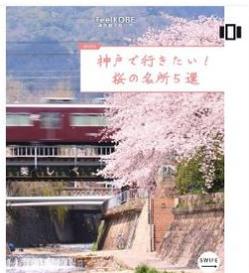


今月号ではInstagramでの人気フィード投稿を紹介

↑ いいね数 上位ランキング

日本語アカウント

BEST 1



🕒 2023/03/22

📍 2,059

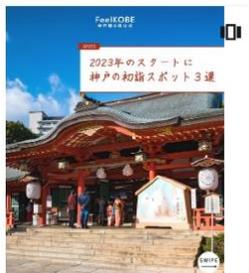
BEST 2



🕒 2023/03/15

📍 1,602

BEST 3



🕒 2023/01/01

📍 1,501

BEST 4



🕒 2023/01/18

📍 1,287

BEST 5



🕒 2023/03/24

📍 1,268

桜や初詣などの**季節性**、レトロやあんこなどの**トレンド**を掛け合わせた切り口の工夫で、人気を押し上げられた。定番から穴場まで名所を丁寧に紹介しながら、多様な神戸の桜シーンを発信し、ユーザーの**春のお出かけ・訪神意欲**をかき立てた。

↑ いいね数 上位ランキング

英語アカウント



2023/03/22 (いいね数: 171)



2023/03/24 (いいね数: 104)



2023/03/08 (いいね数: 92)

「桜の名所5選」、「須磨浦山上遊園(梅)」、「神戸市立王子動物園(桜)」が人気投稿にランクイン。日本の四季を象徴するコンテンツを日本・神戸ならではの景色画像(電車x桜、街並み・海x梅林、遊園地x桜)で投稿し、人気を集めた。幅広い外国人ユーザーに人気のある桜、梅を多様なスポット・シーンで複数件にわたり投稿したことで、**美しい春の神戸のイメージが定着した**

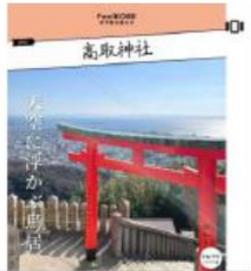


昨年4月～6月の人気フィード投稿 (Instagram)

↑ いいね数 上位ランキング

昨年度の
4月～6月の実績

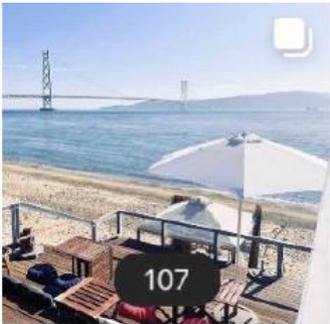
日本語アカウント

BEST 1	BEST 2	BEST 3	BEST 4	BEST 5
				
2022/04/06	2022/05/11	2022/05/02	2022/05/13	2022/05/06
2339	1791	1569	1524	1412

いいね数・保存数ともに、「高取神社」がトップにランクイン！過去2年間のランキングでも、フォロワー数で2位、保存数で7位にランクイン。美しい引きの風景画像、興味をそそるコピー、ストーリー性のある情報発信などの要因で、高いエンゲージメントを獲得。

↑ いいね数 上位ランキング

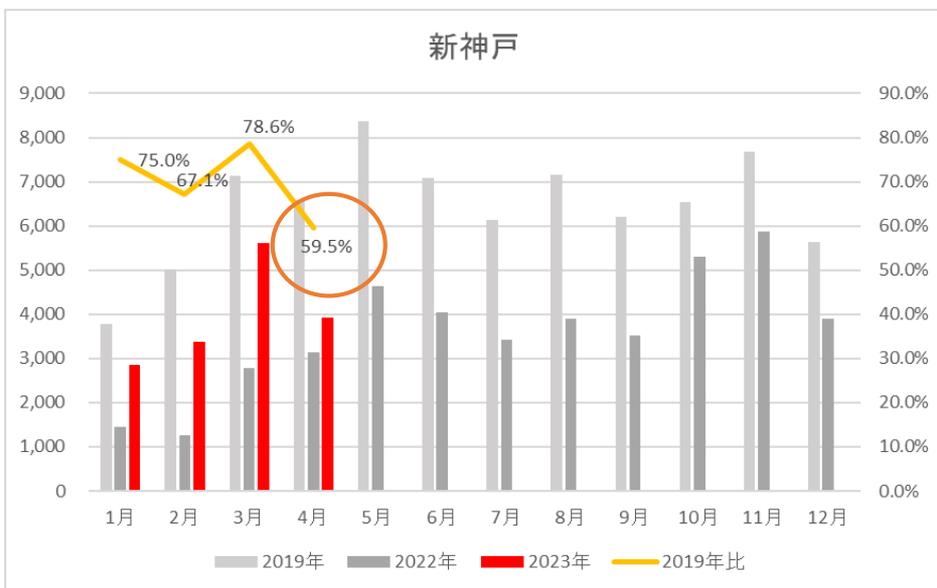
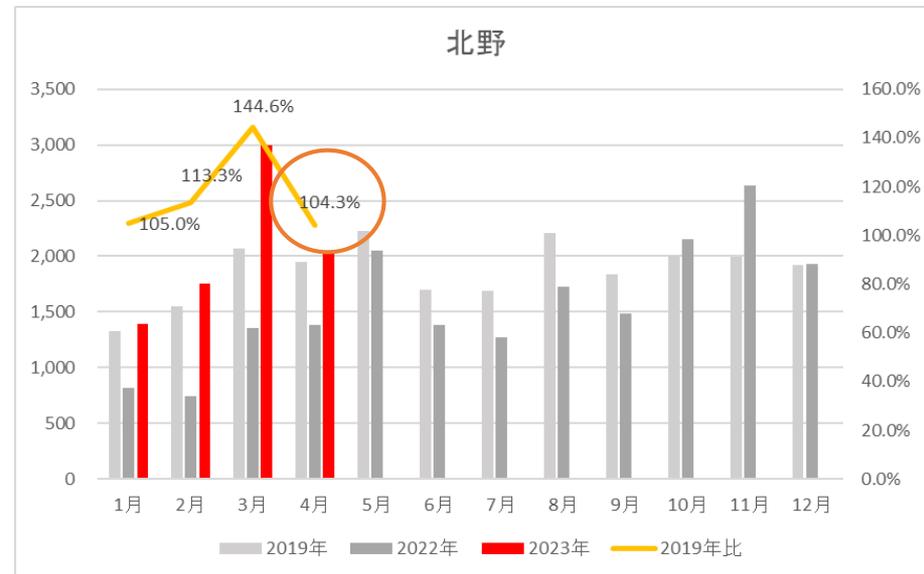
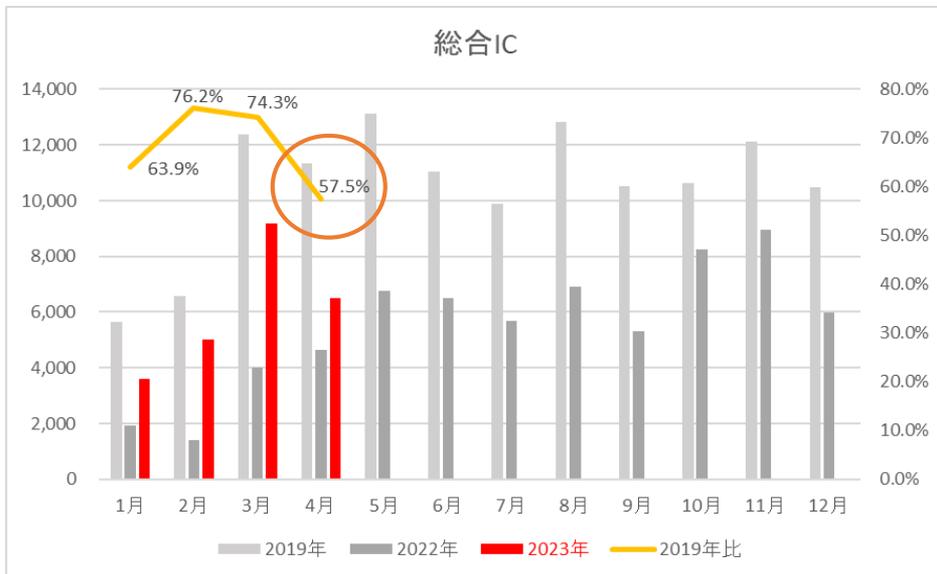
↑ 保存数 上位ランキング

					
2022/05/11	2022/06/01	2022/05/04	2022/05/11	2022/04/08	2022/04/22
107	61	59	12	11	7

「シーサイドカフェ」が、いいね数・保存数ともに、トップにランクイン。

英語アカウント

市内観光案内所 国内観光客案内件数 (2023.4)



○総合インフォメーションセンター (JR三宮駅東口南)

前月比70.9%、春休み明けは年配層の来館比率が高まる。4月中旬頃より、GWの旅相談が増える。

○北野観光案内所 (北野異人館街)

前月比67.7%、桜シーズンはお花見スポットを中心に、韓国人団体ツアー客などで賑わう。

○新神戸駅観光案内所 (JR新神戸駅構内、改札前)

前月比69.9%、クルーズ船の入港に伴う外国人、MICE参加者の来館など。

4月案内所全体件数 12,472件 ⇒ 前月比70.0% 2019年比62.7%

○ 総合インフォメーションセンター

9-18時の時短営業

- 〔客数状況〕 ・ 4月中下旬～5月中旬は平日350名ほど・休日550名ほど。
- 〔客層〕
 - ・ GW期間、国内観光客多数。若者グループ、ファミリー。
 - ・ アジア系・欧米系外国人は、GW期間以外でも多い。
- 〔行き先〕
 - ・ アジア人⇒有馬、三田アウトレット、どうぶつ王国、北野、南京町など。
 - ・ 欧米人⇒布引の滝、ハーブ園、六甲山、摩耶山。アトアなど。
- 〔内容〕
 - ・ 天候良い日にはハイキング案内中心。外国人は天候に無頓着な傾向。
 - ・ GW明けは、国内年配層の比率が高くなる。
 - ・ 4月20頃より神戸まつりの問合せや、GW前後のイベント問合せが多くなる。

○ 北野観光案内所

通所営業時間

9-18時（3月～10月）

9-17時（11月～2月）

- 〔客数状況〕 ・ 4月中下旬～5月中旬は平日100名ほど・土日190名ほど。
- 〔客層〕
 - ・ アジア系団体ツアー客、国内ファミリー層、カップルなどで賑わう。
 - ・ アジア系の中でも、台湾人はファミリーでの旅行が目立つ。
- 〔行き先〕 ・ 各異人館めぐり。南京町やハーバーランドなど、市内観光周遊。
- 〔内容〕
 - ・ 地元中学の校外学習や、修学旅行の生徒が多く訪れている。
 - ・ GW期間中、国内観光客が各地から訪れている。北海道・東北・関東・中部・九州など。

○ 新神戸駅観光案内所

9-17時の通常営業

- 〔客数状況〕 ・ 4月中下旬～5月中旬は平日180名ほど、土日280名ほど。
- 〔客層〕
 - ・ 外国人は欧米系旅行者が増加傾向で、アジア系と同等の割合で来所する日も多い。
 - ・ クルーズ船乗客、MICE参加者。GW明けから修学旅行生増加。
- 〔行き先〕
 - ・ 布引の滝、六甲山・摩耶山などの夜景目的を含むハイキングコース。
 - ・ 市内観光、淡路島、ニジゲンノモリ、三田アウトレットなど。
- 〔内容〕
 - ・ クルーズ船乗客が訪れているが、京都・姫路へ新幹線で行かかっているケースが多い。
 - ・ ホテル、結婚式場のアクセス案内が増加。

市内観光案内所 国籍別窓口対応状況 (2023.4)

国・地域		総合IC	北野	新神戸
アジア	韓国	381	163	39
	中国	64	26	38
	台湾	333	79	48
	香港	310	52	27
	タイ	203	26	81
	シンガポール	146	12	95
	マレーシア	26	5	19
	インドネシア	38	21	43
	フィリピン	85	3	62
	ベトナム	11		10
	インド	17	3	43
	パキスタン			
	バングラデシュ	1		
	その他アジア	693	5	250
中東	イスラエル	14	2	15
	トルコ	2		
	イラン	2		3
	その他中東	8		3
ヨーロッパ	英国	31	14	52
	フランス	69	10	110
	イタリア	12	2	30
	ロシア	1	1	1
	ギリシャ			
	アイルランド			2
	その他ヨーロッパ	438	24	130
アフリカ	南アフリカ共和国	4		
	エジプト		1	
	その他アフリカ	1		1
北アメリカ	米国	215	8	228
	カナダ	31	12	22
	メキシコ	3	2	13
	その他北米	1		2
南アメリカ	ブラジル	3		7
	アルゼンチン	3		1
	コロンビア	4		6
	その他中南米	21		6
オセアニア	オーストラリア	74	7	113
	ニュージーランド	3	2	8
	その他オセアニア		1	
地域不明				696
		(人) 3248	481	2204

〔総合ICより概況〕

- ・外国籍利用者3,248人、前月比123%。
コロナ禍以前2019年同月比63.8%
- ・桜の名所の他、藤の花の名所、六甲山、摩耶山、有馬への案内など。
- ・再開した外国客船が4月も10隻が入港。神戸を通過して京都・大阪へ行くケースが多く残念である。
- ・国籍に関係なく、淡路島特に「ニジゲンノモリ」のアクセス問合せが目立つ。
- ・4/13～15前後のタイの旧正月「ソンクラーン休暇」で、前月比約100名増のタイ人が来館。

〔北野観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者481人、前月比148%。
アジア系の方が外国人来所者の80%を占める。
アジア系のうち韓国約40%、次いで台湾が約20%、香港約13%、インドネシア5%。
- ・米国人よりハイキングコースの相談、布引の滝を案内。
- ・KOBE観光スマートパスポートを外国人にも積極的に販売。

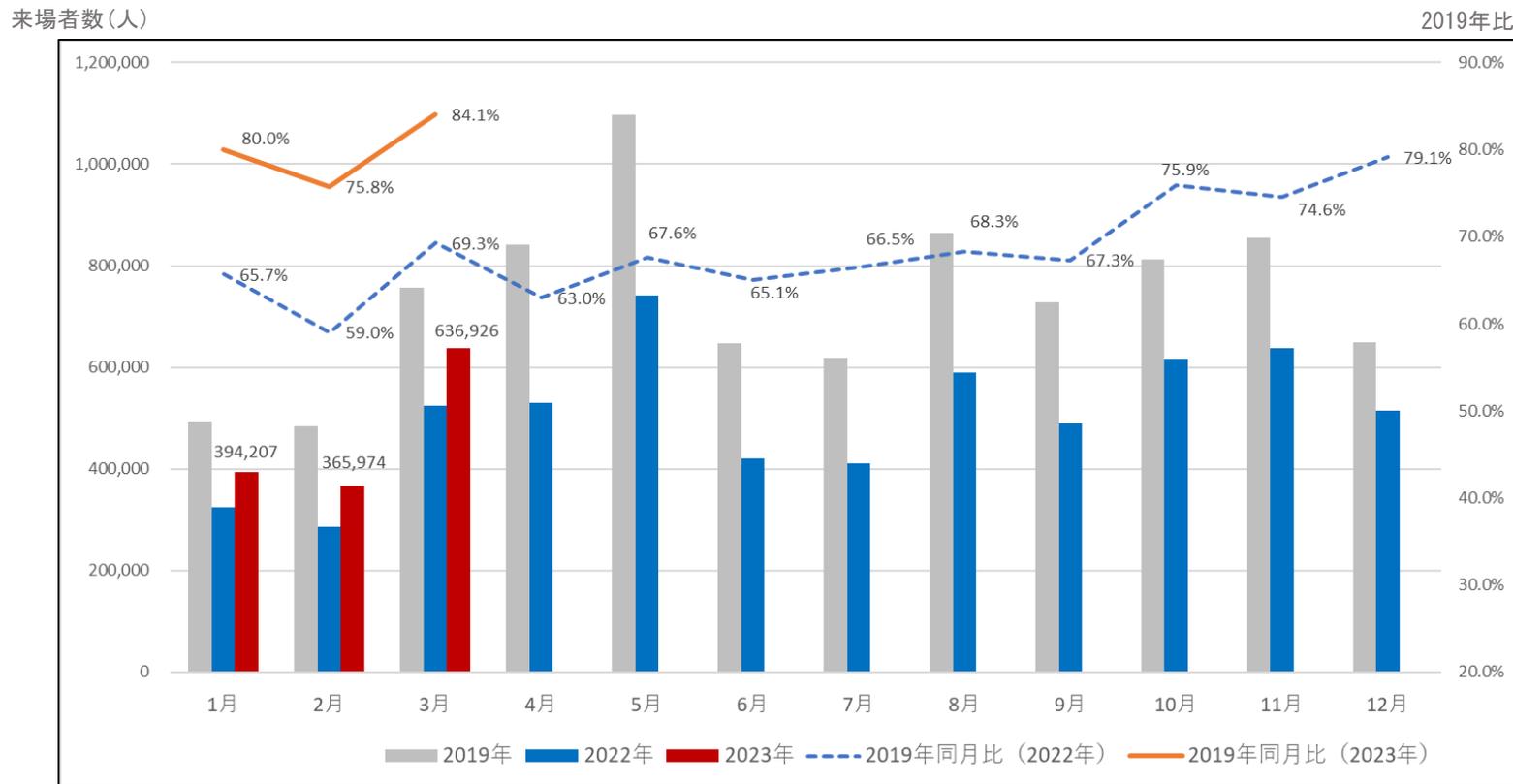
〔新神戸観光案内所より概況〕

- ・外国籍利用者2,204人、前月比151%。
今月はフランスからのお客様が目立って増加。少数だが南米のお客様も。
- ・4月初めは桜スポットのお尋ね多数。ニジゲンノモリは変わらず人気で、淡路島へ宿泊する旅行者が増加傾向。
- ・野球・サッカーの観戦へ行く方より、チケット購入がonline日本語サイトでしか入手できず困っているケースあり。

4月案内所全体件数 5,933件 ⇒ 前月比135%
2019年比85.0%

主要市内観光施設来場者数（2023.3）

- ・ 3月の来場者数は63万人と3か月ぶりの増加を記録（2019年3月比：84.1%）
- ・ 先月に引き続き、インバウンドが増加傾向であり、2月より2倍近く来場者数が増加した施設もあった。
- ・ また、新型コロナウイルス感染症におけるマスク着用の緩和や、全国旅行支援、春休みなどの要因が重なり、国内の観光需要の回復が著しいという結果になった。



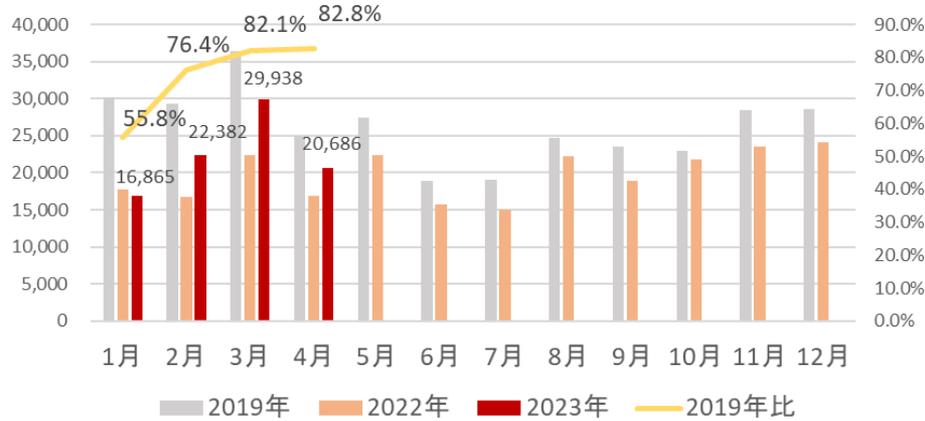
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~12月計
2019年	492,867	483,116	757,624	841,024	1,096,996	647,632	618,160	864,393	727,418	811,994	854,900	650,164	8,846,288
2022年	323,867	285,141	525,080	530,110	741,675	421,305	411,176	590,543	489,843	616,308	637,940	514,591	6,087,579
2019年同月比 (2022年)	65.7%	59.0%	69.3%	63.0%	67.6%	65.1%	66.5%	68.3%	67.3%	75.9%	74.6%	79.1%	68.8%
2023年	394,207	365,974	636,926										
2019年同月比 (2023年)	80.0%	75.8%	84.1%										

出典：神戸市観光企画課・神戸観光局調査

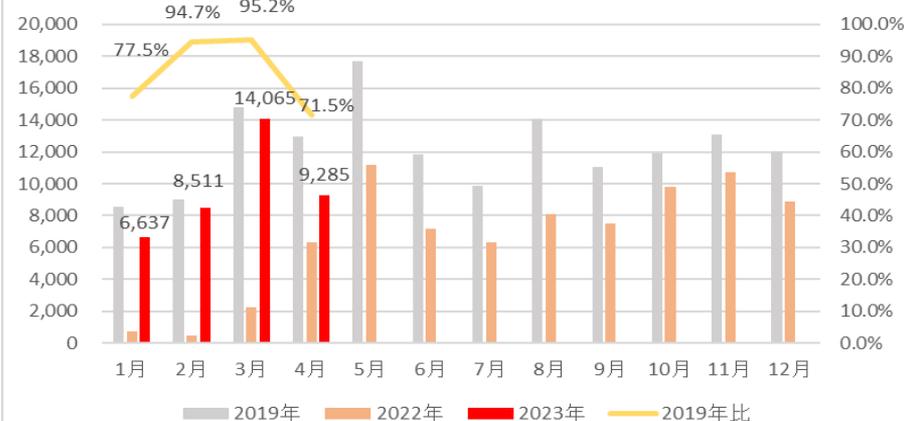
集計対象施設：全21施設（ラインの館、風見鶏の館、王子動物園、神戸市立博物館、六甲山牧場、金の湯、銀の湯、須磨海浜水族園など）

所管施設入館者数（金の湯・銀の湯） / （萌黄の館）

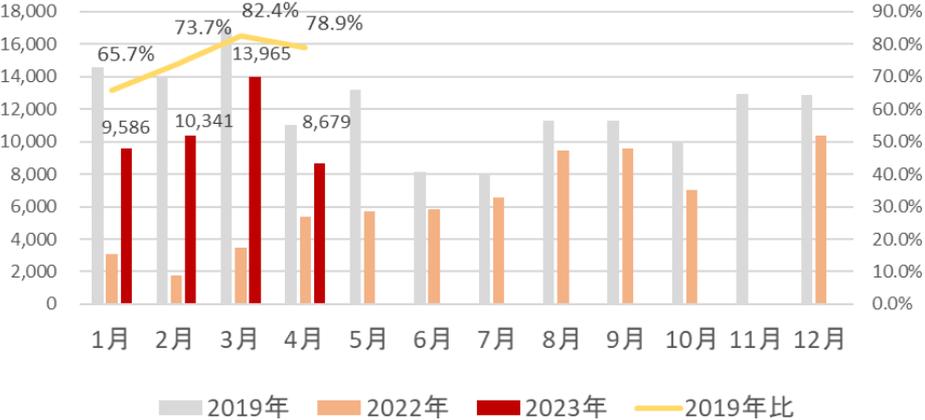
金の湯



萌黄の館



銀の湯



【コメント】

4月の入館者数は9,285人、令和元年度（平成31年4月）比71.5%と、3月に比べて入館者数が伸び悩んだ。要因としては、高校生以下の入館者数が1,101人減少したこと、週末の天気で2回雨に当たったことが考えられる。



【コメント】

外国人利用者は、韓国からの旅行者が目立った。貸し切りバスを利用したツアーも見られるようになり、利用者数は順調に戻りつつある。

また、3月下旬から料金改定を告知し、4月26日(水) から、土・日・祝日の利用料金を金の湯（650円⇒800円）、銀の湯（550円⇒700円）に値上げを実施したが、料金改定に関する大きなトラブルもなく、営業している。



神戸市内大型施設の主な催事情報(6～7月) 5月25日時点

※1,000名以上収容可能施設から主なイベント情報を抽出
 ※コンサート等については、アーティスト名のみを表記
 ※神戸観光局経営推進部調べ



6月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	3～4日 第8回日本肺高血圧・肺循環学会学術集会	1～3日 日本麻酔科学会70回学術集会	3～4日 THE BOYZ 2ND JAPAN TOUR : ZENERATION		3日 神戸市室内管弦楽団 第158回定期演奏会 「ウィーン古典派の万華鏡」	1～4日 第73回西日本学生体操競技選手権大会 (体操・新体操)
2週目	9～10日 第72回公益社団法人全日本鍼灸学術大会 神戸大会		10～11日 Kep1er JAPAN CONCERT TOUR2023	4日 斉藤和義 10日 スターダスト☆レビュー		10日 第62回全国実業団対抗テニス大会
3週目	16～18日 第68回日本透析医学学会学術集会・総会			11日 UNISON SQUARE GARDEN 13日 あいみょん 16日 Uru 17日 及川光博	17日 神戸文化ホールウエルカムジャンボリー2023 「コブホであそぼ!」	
4週目			23～24日 Fantasy on Ice 2023 in KOBE	21日 舟木一夫 23日 ウクライナ国立 民族舞踊団 24日 坂本冬美		18日/24日 第6回全日本社会人バスケットボール O-40・50選手権大会(県予選)
5週目	30～7月1日 第28回日本緩和医療学会学術大会			25日 DISH//		

7月	神戸国際会議場	神戸国際展示場	ワールド記念ホール	こくさいホール	神戸文化ホール	総合運動公園
1週目	6月30～1日 第28回日本緩和医療学会学術大会			1～2日 米米CLUB		
2週目	6～8日 第64回日本神経病理学会 総会学術研究会・ 第66回日本神経科学学会 大会合同大会	6～8日 脳内管内ブラッシュ アップセミナー	2日 DORAGONGATE KOBEプロレス フェスティバル2023	7日 ASKA 8日 FANKY MONKEY BABY'S		
3週目	16～17日 第16回日本在宅薬学会学術大会		8～9日 めいちゃんライブツアー 「どんちゃん騒ぎ」	12日 大阪フィルハーモニー交響楽団 14日 男闘呼組		15～17日 第78回国民スポーツ大会近畿ブロック 大会(体操・新体操)
4週目	22日 第131回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会・第101回日本呼吸器学会近畿地方会合同開催	22～23日 神戸ハンドメイド マルシェ 2023	15～16日 50th Anniversary 松任谷由実コンサート ツアー「The Journey」	17日 秦 基博 20日 神戸フロイデ 合唱団 22日 よしもとライブ	23日 神戸市室内管弦楽団 ・神戸市混声合唱団 こどもコンサート	27～30日 全農杯2023全日本卓球選手権ホープス パンピの部
5週目	29日 日本集中治療医学会第7回 関西支部学術集会			23日 GReeeeN 30日 NEMOPHILA		

※各催事の集客予定人数・販売状況については、当方および各施設・主催者にお問い合わせいただいても一切お答えできません。

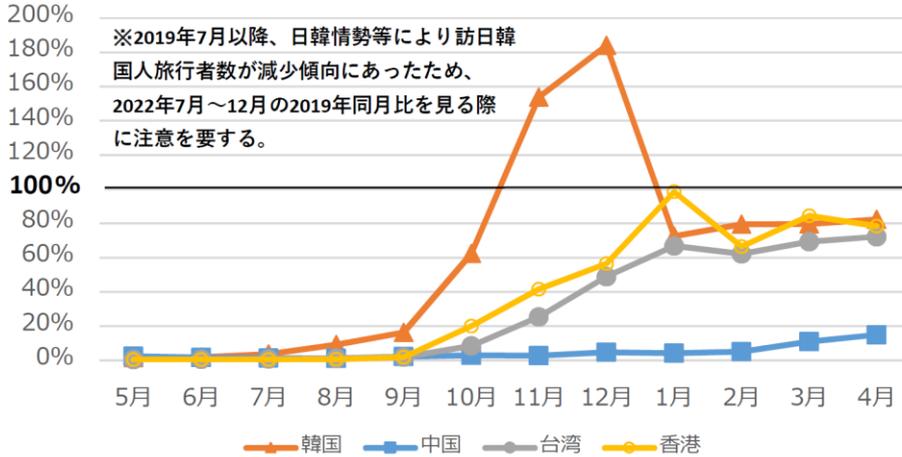
參考資料集

2023年4月訪日外客数の各国・地域別の内訳(対2019年比)

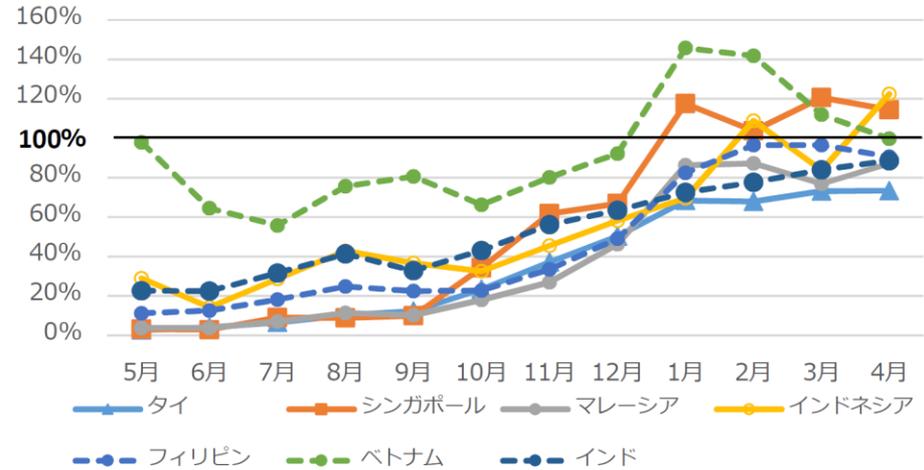
国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 4月	2023年 4月	伸率(%)	2019年 1月～4月	2023年 1月～4月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,926,685	1,949,100	-33.4	10,980,482	6,739,500	-38.6
韓国	South Korea	566,624	467,000	-17.6	2,647,397	2,067,700	-21.9
中国	China	726,132	108,300	-85.1	2,895,449	251,600	-91.3
台湾	Taiwan	403,467	291,600	-27.7	1,593,227	1,078,300	-32.3
香港	Hong Kong	194,806	152,800	-21.6	699,852	569,000	-18.7
タイ	Thailand	164,817	121,000	-26.6	512,754	365,700	-28.7
シンガポール	Singapore	36,704	42,000	14.4	129,169	148,400	14.9
マレーシア	Malaysia	46,092	40,200	-12.8	164,766	138,200	-16.1
インドネシア	Indonesia	39,768	48,700	22.5	136,476	131,300	-3.8
フィリピン	Philippines	69,266	62,800	-9.3	188,700	173,000	-8.3
ベトナム	Vietnam	55,295	55,200	-0.2	177,928	216,200	21.5
インド	India	18,376	16,300	-11.3	57,667	47,300	-18.0
豪州	Australia	70,504	56,100	-20.4	243,400	191,500	-21.3
米国	U.S.A.	170,247	183,900	8.0	542,671	562,000	3.6
カナダ	Canada	38,897	36,800	-5.4	123,032	110,900	-9.9
メキシコ	Mexico	8,222	9,300	13.1	20,466	19,700	-3.7
英国	United Kingdom	44,537	36,500	-18.0	128,255	102,000	-20.5
フランス	France	46,005	34,400	-25.2	108,130	77,600	-28.2
ドイツ	Germany	27,829	27,400	-1.5	81,230	70,000	-13.8
イタリア	Italy	24,062	15,600	-35.2	50,948	37,200	-27.0
スペイン	Spain	13,858	8,300	-40.1	31,689	22,300	-29.6
ロシア	Russia	13,787	4,400	-68.1	37,405	10,800	-71.1
北欧地域	Nordic Countries	17,277	11,600	-32.9	48,323	33,100	-31.5
中東地域	Middle East	13,352	13,800	3.4	32,644	34,000	4.2
その他	Others	116,761	105,100	-10.0	328,904	281,700	-14.4

2022-2023年訪日外客推移（2019年同月比）

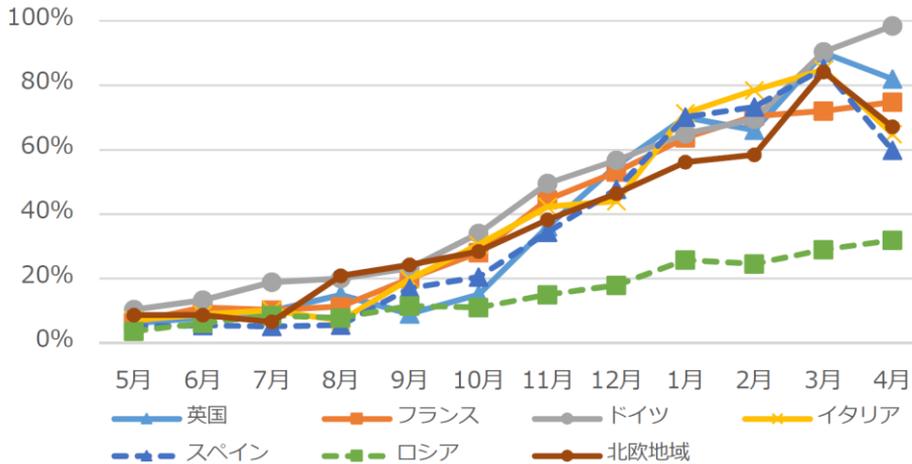
東アジア



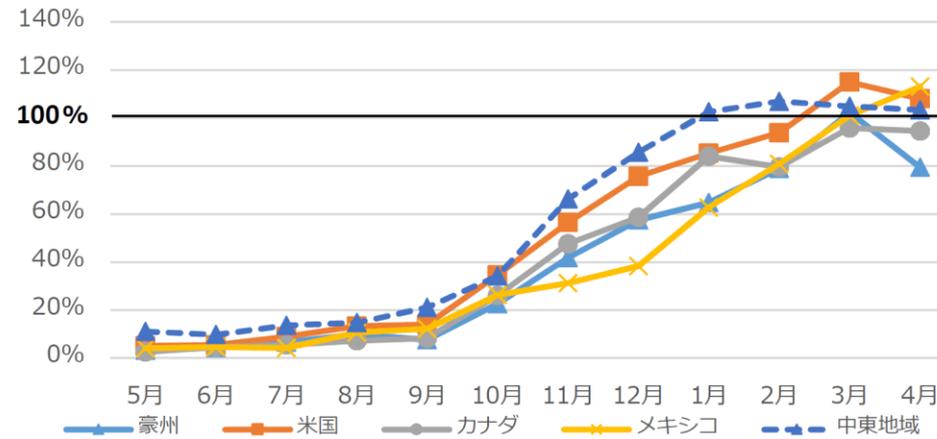
東南アジア



欧州・北欧



北米・豪州・中東

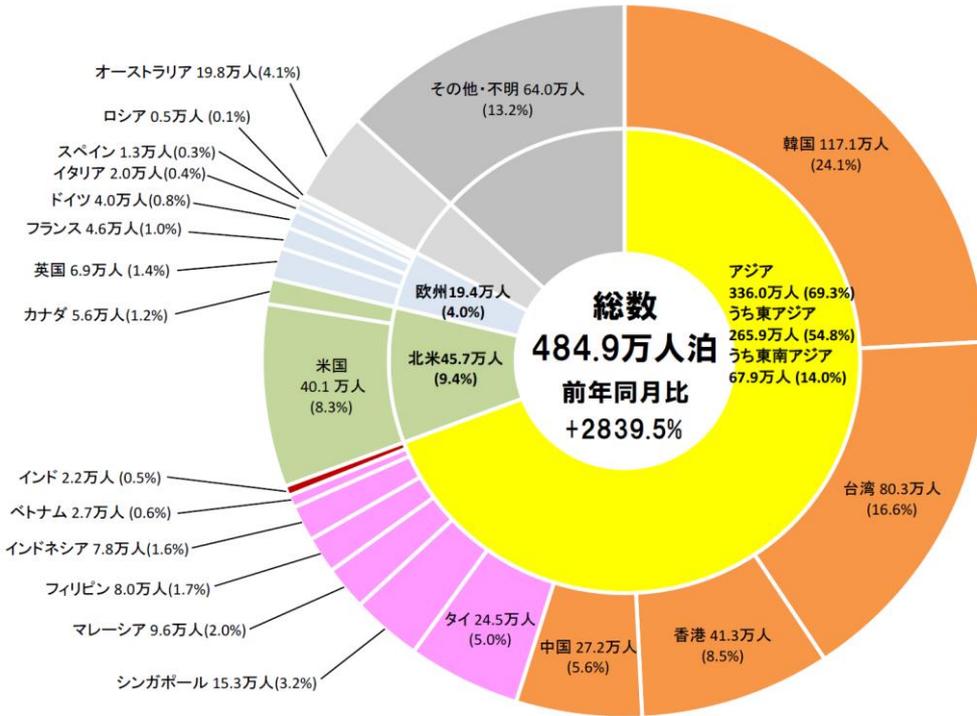


(注) 2020年から拡大した新型コロナウイルスによる影響を除くため、1月以降も繰り返し2019年の数値と比較している。

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（R5.2月）

- 令和5年2月の国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数は、先月に引き続き、第1位が韓国、続いて台湾、香港、アメリカ、中国となっており、上位5カ国・地域で全体の63.0%を占める。
- 2019年同月比では2割以上減少している国が多い一方で、アメリカ、シンガポールは先月に引き続きコロナ前を上回る勢い。

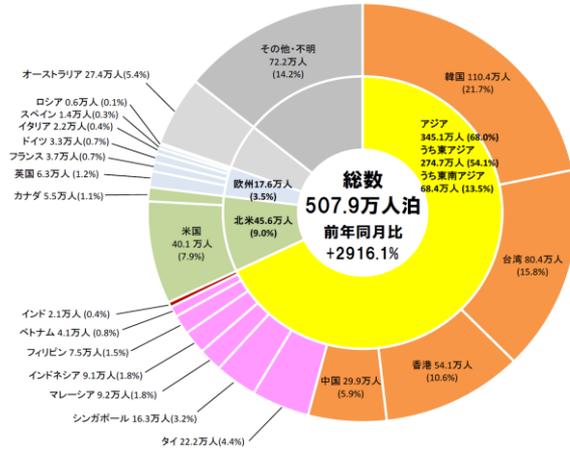
国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年2月（第2次速報））



順位	国籍（出身地）	合計		2019年同月比	前年同月比
		（人泊）	シェア		
第1位	韓国	1,170,680	24.1%	-7.6%	+24238.5%
第2位	台湾	802,820	16.6%	-34.9%	+34654.1%
第3位	香港	413,160	8.5%	-31.0%	+55732.4%
第4位	米国	400,890	8.3%	+11.6%	+670.5%
第5位	中国	272,270	5.6%	-89.5%	+1758.5%
第6位	タイ	244,500	5.0%	-17.8%	+9161.4%
第7位	オーストラリア	197,900	4.1%	-16.9%	+12041.1%
第8位	シンガポール	152,840	3.2%	+8.7%	+4862.3%
第9位	マレーシア	95,870	2.0%	-6.9%	+15616.4%
第10位	フィリピン	80,490	1.7%	+14.1%	+376.6%
第11位	インドネシア	77,800	1.6%	+9.3%	+2135.6%
第12位	英国	68,640	1.4%	-17.4%	+3756.2%
第13位	カナダ	56,150	1.2%	+3.1%	+7098.7%
第14位	フランス	46,450	1.0%	-17.8%	+1518.5%
第15位	ドイツ	39,770	0.8%	-19.2%	+1724.3%
第16位	ベトナム	27,460	0.6%	-41.0%	+272.6%
第17位	インド	22,040	0.5%	-20.3%	+707.3%
第18位	イタリア	20,270	0.4%	-6.0%	+9113.6%
第19位	スペイン	13,460	0.3%	-36.3%	+4541.4%
第20位	ロシア	5,220	0.1%	-74.0%	+784.7%
	その他	399,060	8.2%	-18.5%	+1021.3%
	合計	4,848,960	100.0%	-40.1%	+2839.5%

【参考】前月分

国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数（令和5年1月（第2次速報））



※ 合計は国籍（出身地）不詳を含む。
 ※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
 ※ 2019年同月比及び前年同月比は、確定値との比較である。

都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2022.11～2023.1月)



	12月		1月		2月			12月		1月		1月	
	延べ	順位	延べ	順位	延べ	順位		延べ	順位	延べ	順位	延べ	順位
全 国	5,980,580		6,058,130		5,929,850								
01北海道	635,520	3	624,680	3	654,970	3	24三重県	8,910	32	8,750	36	6,390	38
02青森県	6,960	38	10,490	31	10,830	31	25滋賀県	11,830	26	21,120	24	16,560	24
03岩手県	7,910	33	12,660	29	16,120	27	26京都府	589,090	4	444,910	4	411,250	4
04宮城県	14,960	25	23,570	23	23,240	20	27大阪府	839,410	2	846,840	2	911,430	2
05秋田県	4,740	41	7,380	39	5,110	40	28兵庫県	40,470	14	57,330	15	52,930	14
06山形県	10,810	28	23,970	22	18,460	23	29奈良県	11,490	27	9,310	35	7,020	37
07福島県	7,290	35	13,800	28	19,920	22	30和歌山県	17,890	22	16,130	27	14,990	29
08茨城県	7,170	36	9,720	33	8,840	32	31鳥取県	2,000	45	2,240	46	2,470	46
09栃木県	18,110	21	17,980	26	20,350	21	32島根県	1,290	47	1,680	47	1,460	47
10群馬県	15,640	24	24,360	21	15,200	28	33岡山県	10,480	29	9,460	34	8,770	33
11埼玉県	15,980	23	9,990	32	7,940	36	34広島県	28,550	17	32,420	19	31,500	18
12千葉県	154,530	6	175,700	8	159,620	8	35山口県	7,420	34	5,030	41	4,920	41
13東京都	2,436,840	1	2,205,220	1	2,189,530	1	36徳島県	4,540	42	3,830	43	4,310	44
14神奈川県	109,030	8	130,720	9	114,020	9	37香川県	9,150	31	11,060	30	11,920	30
15新潟県	25,590	19	67,370	12	47,680	15	38愛媛県	6,430	39	5,020	42	5,800	39
16富山県	5,560	40	5,100	40	4,530	43	39高知県	2,010	44	2,930	44	4,850	42
17石川県	26,750	18	33,100	18	25,440	19	40福岡県	245,810	5	321,510	5	290,520	5
18福井県	1,970	46	2,600	45	2,570	45	41佐賀県	7,090	37	8,640	37	7,970	34
19山梨県	75,040	11	66,690	13	75,260	12	42長崎県	21,030	20	31,180	20	16,190	25
20長野県	92,330	9	191,720	7	178,610	7	43熊本県	37,250	16	41,980	16	47,320	17
21岐阜県	53,600	13	58,200	14	55,520	13	44大分県	72,170	12	93,310	11	78,390	11
22静岡県	38,650	15	36,640	17	47,650	16	45宮崎県	4,410	43	8,050	38	7,970	34
23愛知県	87,690	10	95,090	10	85,410	10	46鹿児島県	9,910	30	20,080	25	16,190	25
							47沖縄県	139,280	7	208,590	6	181,890	6

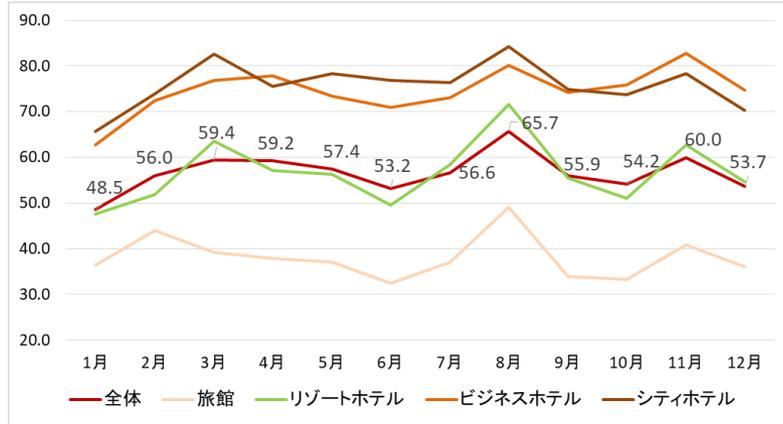
(単位：人泊)

宿泊タイプ別客室稼働率

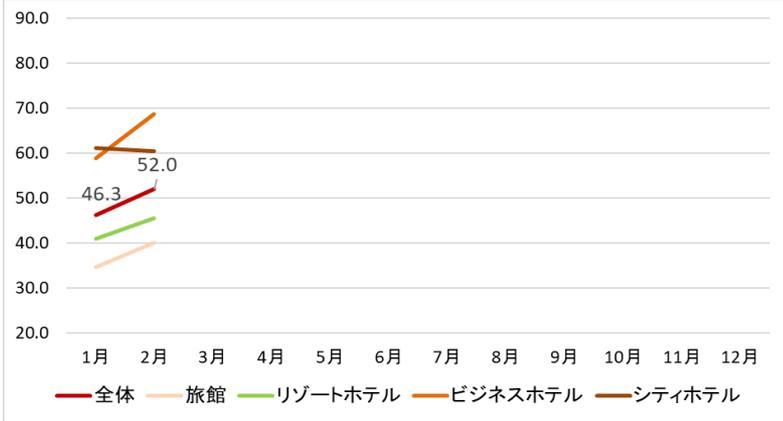
2019年／2023年比較

【兵庫県】

(2019年)

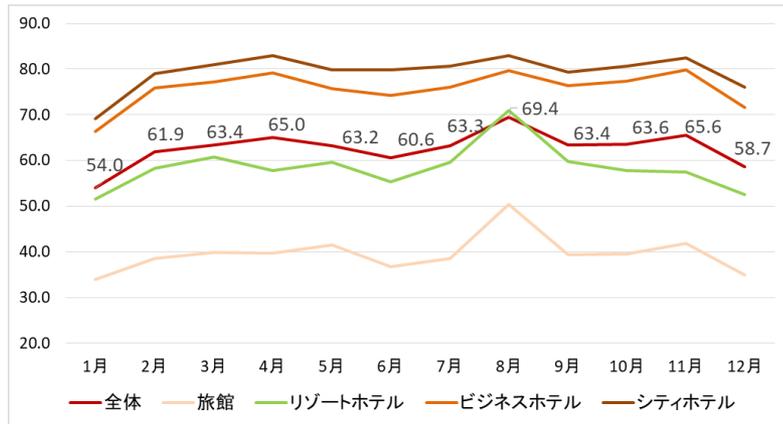


(2022年)

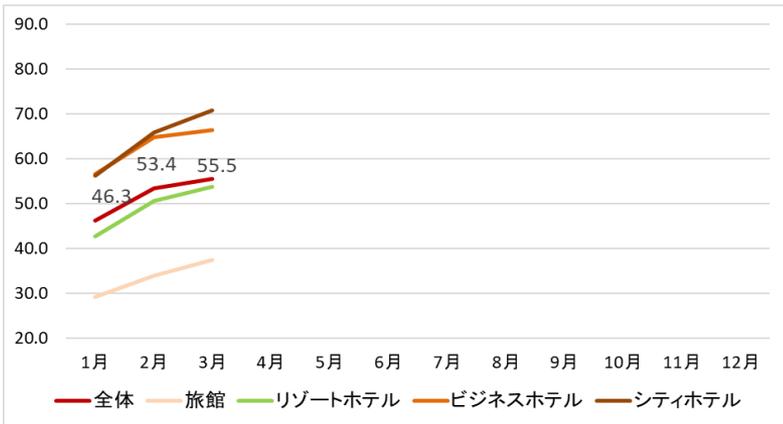


【全国】

(2019年)



(2023年)



世界の運航状況

2019年5月1週目比 2023年5月1週目比

地域	2019年5月1週目比	2023年5月1週目比
世界	-2.7%	-0.5%
西欧	-1.3%	1.2%
東欧	-20.4%	1.6%
北米	-1.2%	-0.3%
中米	9.0%	-1.7%
南米	4.5%	-2.1%
東アジア	-1.3%	1.2%
東南アジア	-14.1%	2.5%
中東	4.6%	-0.1%
太平洋(豪州ほか)	-6.5%	0.6%

世界の座席利用率(2023年3月)

※ポイントは2019年同月差

地域	合計	国際線	国	国内線
アジア・太平洋	79.2% -2.5p	84.5% 4.1p	日本	79.0% 3.3p
欧州	80.5% -3.4p	79.4% -5.0p	中国	70.6% -11.6p
北米	83.7% -1.9p	84.8% 1.0p	インド	85.6% -1.1p
中南米	81.2% -0.4p	82.8% 1.1p	米国	82.9% -3.7p
中東	79.4% 5.7p	79.4% 5.8p	豪州	82.5% 3.1p
合計	81.3% 0.4p	79.8% -4.3p	合計	77.8% -4.3p

出典: OAG FLIGHT DATAより抜粋・算出

<https://www.oag.com/coronavirus-airline-schedules-data?hsLang=en-gb>

出典: IATA「Air Passenger Market Analysis」より抜粋

<世界の航空業界の状況>

世界の2023年3月の運航総数は、力強い伸びを示す。
特にアジア太平洋地域の航空会社の成長率が最も高い。中国の経済再開と渡航制限の緩和が今後注目される。
座席利用率が上昇、全体として2019年（コロナ前）を0.4p上回る。

関西国際空港・神戸空港の利用状況(2022年4月～2023年3月) 5月20日時点



関西国際	2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月
総旅客数(人)	439,084	499,770	524,388	649,909	714,267	648,397	885,510	1,136,004	1,352,147	1,390,798	1,456,834	1,756,841
2019年比(%)	-84	-82	-80	-76	-75	-73	-65	-55	-47	-47	-42	-39
国際線 発着数(回)	2,955	3,041	3,448	3,591	3,740	3,683	4,284	5,544	6,242	6,227	6,197	7,496
2019年比(%)	-78	+178	-74	-74	-73	-71	-66	-57	-55	-55	-48	-44
外国人 旅客数(人)	19,336	38,335	38,948	51,778	67,522	70,856	206,106	471,298	663,438	753,219	736,776	808,116
2019年比(%)	-98	-97	-97	-96	-95	-93	-84	-64	-50	-47	-46	-43
国内線 旅客数(人)	386,241	440,515	454,729	546,888	568,852	502,916	583,702	560,512	560,251	502,333	552,232	698,171
2019年比(%)	-33	-33	-17	-11	-13	-14	+2	-2	+1	-9	+5	+9

神戸	2022年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	3月
国内線発着 回数(回)	2,570	2,665	2,666	3,081	3,109	2,785	3,106	2,858	3,058	2,812	2,755	3,014
2019年比(%)	+4	+1	+10	+19	+14	±0	+1	±0	±0	+16	+25	+21
国内線 旅客数(人)	173,628	206,812	215,697	265,021	299,259	256,541	293,612	286,507	279,040	253,485	263,184	316,365
2019年比(%)	-32	-25	-18	-6	-9	-14	+1	-4	±0	+2	+7	+10

※国内線旅客数は発着者数計、国際線旅客数は出入国者数計となります。

出典：関西エアポートニュースリリースより作成

神戸空港就航都市路線別旅客数・利用率(2022年4月～2023年3月)

5月20日時点



路線	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月
新千歳	旅客数(人)	26,174	35,410	42,470	49,670	51,263	49,579	50,832	40,730	41,390	40,249	44,358	50,793
	利用率(%)	52.3	58.1	72.0	81.3	83.9	86.0	82.8	66.8	67.1	66.7	81.7	80.5
青森	旅客数(人)	2,313	2,776	2,418	3,052	6,319	3,300	3,636	2,764	2,475	2,054	2,358	3,965
	利用率(%)	47.0	53.4	48.0	58.8	63.8	67.7	69.8	54.8	49.1	40.8	50.2	76.1
花巻	旅客数(人)	1,827	2,197	2,171	2,431	3,508	2,663	2,558	2,732	2,597	2,405	2,166	3,863
	利用率(%)	37.0	42.3	43.1	46.8	67.4	54.7	49.3	56.9	52.4	49.2	50.0	78.1
仙台	旅客数(人)	10,510	12,672	11,581	13,862	17,200	15,202	17,488	17,487	16,337	13,382	14,349	18,112
	利用率(%)	49.5	57.7	55.4	63.2	78.4	73.4	79.7	82.3	74.4	62.0	73.7	83.9
新潟	旅客数(人)	1,979	2,444	2,105	1,841	2,274	1,731	2,127	1,811	1,534	1,163	1,583	2,632
	利用率(%)	42.4	49.8	46.4	38.4	46.9	38.0	45.5	35.9	33.3	26.1	33.7	62.7
茨城	旅客数(人)	12,423	15,927	14,320	18,199	22,620	17,808	23,264	24,291	22,316	18,885	20,508	26,489
	利用率(%)	45.6	58.1	55.4	55.3	69.8	57.2	70.7	78.0	67.8	58.0	69.0	80.5
羽田	旅客数(人)	53,807	66,227	63,350	69,993	72,557	70,048	75,781	76,456	78,852	72,983	69,384	79,594
	利用率(%)	67.7	74.3	69.9	69.7	81.8	80.5	82.5	88.5	87.9	82.0	87.4	88.6
松本	旅客数(人)	4,936	5,996	6,313	5,821	5,948	5,512	7,086	7,233	5,873	5,086	5,610	7,479
	利用率(%)	50.0	58.2	64.8	56.4	57.1	56.7	68.2	73.6	62.4	50.5	61.8	73.0
高知	旅客数(人)	1,904	2,351	2,065	2,285	2,535	1,831	2,178	2,380	2,912	2,607	2,409	3,190
	利用率(%)	37.8	45.1	41.0	43.9	48.7	38.9	41.9	49.6	58.1	52.5	53.8	64.5
長崎	旅客数(人)	12,631	14,830	13,666	18,637	23,446	18,703	23,214	22,017	20,425	19,793	20,435	25,737
	利用率(%)	46.9	54.5	52.9	56.9	71.6	63.7	70.5	69.9	62.0	60.8	68.7	78.2
鹿児島	旅客数(人)	5,049	6,103	6,593	10,469	15,389	12,226	16,263	16,935	15,784	14,181	14,804	15,665
	利用率(%)	39.6	41.5	43.3	48.1	70.1	62.2	74.1	79.7	71.9	65.7	74.7	71.4
那覇	旅客数(人)	32,525	31,252	37,519	55,216	61,316	47,024	54,558	57,607	53,879	48,445	53,212	63,904
	利用率(%)	50.1	44.9	55.0	64.2	70.4	65.4	71.5	78.2	70.6	63.8	77.2	82.3
下地島	旅客数(人)	4,311	4,370	7,374	8,444	8,679	5,931	8,689	8,822	8,955	6,586	7,905	9,299
	利用率(%)	40.6	39.8	69.4	76.9	79.1	65.7	79.2	83.1	81.6	60.0	79.8	84.7